

HP Kayak XU & XW PC ワークステーション

アップグレード/ コンフィグレーション・ガイド



ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、特定の目的に対する商品性や適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

当社では、当社ソフトウェアの当社によって提供された機器以外での使用およびその信頼性については責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を、書面による事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

Adaptec[®] は Adaptec, Inc. の登録商標です。RAIDport[™]、ArrayConfig[™]、ARO[™]、CI/O[™] および Array1000 は Adaptec, Inc. の商標です。

Adobe[®] Reader © 1987-1997 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe[™] および Acrobat[™] は Adobe Systems Incorporated の商標です。

CompuServe[®] は CompuServe Incorporated の登録商標です。

ELSA[®] および GLoria Synergy[®] は ELSA AG、Aachen and/or ELSA Inc., Santa Clara. の登録商標です。

Symbios Logic[™] は Symbios Logic, Inc. の商標です。

Microsoft[®]、MS[®]、MS-DOS[®]、Windows[®]、および Windows NT[®] は Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Netscape[™] は Netscape Communications Corporation の商標です。

Pentium[™] は Intel Corporation の商標です。

SoundBlaster[™] は Creative Technology Limited の商標です。

SCSISelect[™] は Adaptec Incorporated の商標です。

WOL[™] (Wake on LAN) は IBM の商標です。

Hewlett-Packard France
Performance Desktop Computing Operation
38053 Grenoble Cedex 9
France

©1998 日本ヒューレット・パッカード株式会社

©1998 Hewlett-Packard Company

アップグレード / コンフィグレーション・ガイド

本書をお読みになる方へ

本書は、次の項目について説明しています。

- PCワークステーションの諸設定を行なう方法
- PCワークステーションへのアクセサリの追加
- PCワークステーションでのトラブルシューティング

安全性についての重要事項

警告

PCワークステーション本体やディスプレイを一人で持ち上げられないようなときは、必ず誰かに手伝ってもらってください。

安全のため、電源コードは必ずアース付きのコンセントに接続してください。電源コードは、本製品に付属のものか、国内の規格に合ったアース・プラグ付きのものを使用してください。本製品を電源から遮断するには電源コードをコンセントから抜く必要があります。本製品は、コンセントにすぐ手が届くようにコンセントの近くに設置してください。

安全のため、カバーを取り外す場合は、必ずコンセントから電源コードを取り外し、通信ネットワークへの接続も切り離してください。また、PCワークステーションにカバーを取り付けてから電源スイッチを入れてください。

感電防止のため、電源装置は決して開けないでください。電源装置の内部に一般のユーザが調整できる部品はありません。

HP PCワークステーションは、クラス1レーザ製品です。レーザ・ユニットの調整は行わないでください。

人間工学についての重要事項

PCワークステーションをご使用になる前に、人間工学についての事項をお読みになることを強くお勧めします。Windows NT 4.0をご使用の場合は、タスクバーの[スタート]メニューを開き、[プログラム]、[HP Info]の順にクリックします。続いてヘルプ・トピックの「快適な作業を行うために」をダブルクリックしてください。

ダウンロード可能なマニュアル

HP ウェブ・サイトからは本PCワークステーション用の追加マニュアルをダウンロードできます。これらのマニュアルは、すべて Adobe Acrobat (PDF) 形式で提供され、無償でご利用いただけます。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

ダウンロードできるマニュアルには次のものがあります。

- アップグレード/コンフィグレーション・ガイド—本書。アクセサリのインストール方法について詳細に説明します。また、トラブルシューティングについても細かな説明があります。
- XWモデル専用—HP VISUALIZE Fx6 コンフィグレーション/トラブルシューティング・ガイド—本PCワークステーションで使用するグラフィック・ソリューションに関するアップグレードならびにトラブルシューティング情報が記載されています。
- *SCSI Administrator's Guide* —SCSI デバイスの管理と構成方法を説明します。トラブルシューティング情報も記載されています(英文のみ)。
- *Using Sound* —本PCワークステーションのオーディオ機能の使用方法に関する情報が記載されています(英文のみ。この情報はPCワークステーションのハードディスクにインストール済みです)。
- *Familiarization Guide* —サポートや保守担当者の方を対象としたトレーニング・ガイド(英文のみ)
- *Network Administrator's Guide* —PC ワークステーションをLANで接続するための設定方法について記載されています(英文のみ。この情報はPCワークステーションのハードディスクにインストール済みです)。
- *Service Handbook Chapters* —HP 部品番号など交換部品に関する情報が記載されています(英文のみ)。

1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

サポートされるHP製アクセサリ	2
カバーの取り付けと取り外し	3
エアフロー・ガイドの取り付けと取り外し	5
メモリのインストール	6
大容量記憶装置のインストール	8
アクセサリ・ボードのインストール	19
プロセッサのインストール	22

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

HP MaxiLifeを使って問題点を診断する	28
HP DiagTools(ハードウェア診断ユーティリティ)	32
PCワークステーションを正常に起動できないとき	34
PCワークステーションの電源を切れないとき	39
ハードウェアに問題があるとき	40
ソフトウェアに問題があるとき	47

3 技術情報

仕様	52
システムの仕様	55
システム・コネクタとスイッチ	58
HP サマリ画面と Setup プログラム	60
ネットワーク接続の設定	61

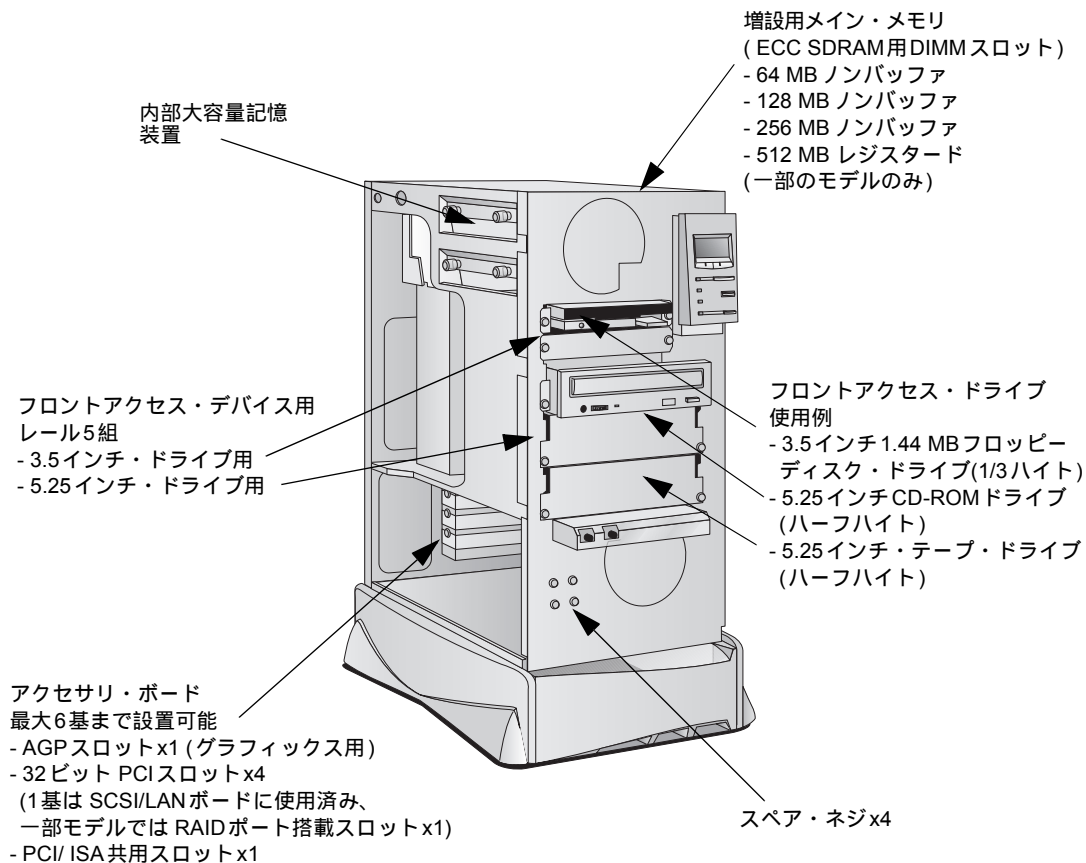
HP PC ワークステーションへのアクセサリ のインストール方法

本章では、増設メモリ、アクセサリ・ボード、増設ディスク・ドライブなどアクセサリを PC ワークステーションにインストールする方法について、詳細に説明します。

1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

サポートされる HP 製アクセサリ

サポートされる HP 製アクセサリ



サポートされるデバイスの最新リストについては、販売代理店に問い合わせください。

注記

512 MBレジスタード ECC SDRAM DIMM は 64 MB、128 MB、256 MB ノンバッファ DIMM と組み合わせて使用できません。

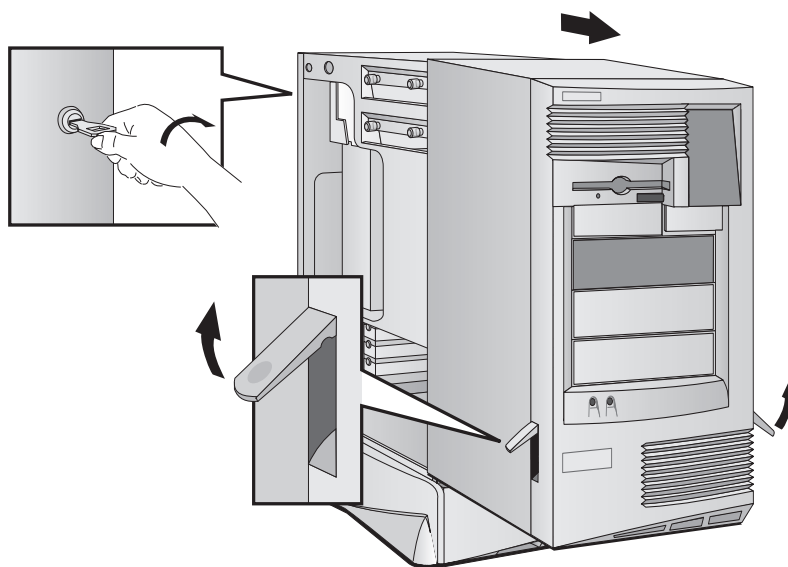
カバーの取り付けと取り外し

警告

安全のため、PCワークステーションのカバーを取り外す場合は、必ず電源コンセントから電源コードを外し、また通信ネットワークへの接続を外してから取り外してください。また再び電源スイッチを入れる場合は、必ずPCワークステーションにカバーを取り付けてから行ってください。

カバーの取り外し

- 1 ディスプレイとコンピュータ本体の電源をオフにします。
- 2 電源コードとLANまたは通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 3 必要に応じて、リアパネルに添付されたキーを使用してカバーのロックを解除します。
- 4 コンピュータ前面横の2つのラッチを上げます。
- 5 コンピュータ背面のカバーの両脇をつかみ、手前にスライドさせて取り外します。

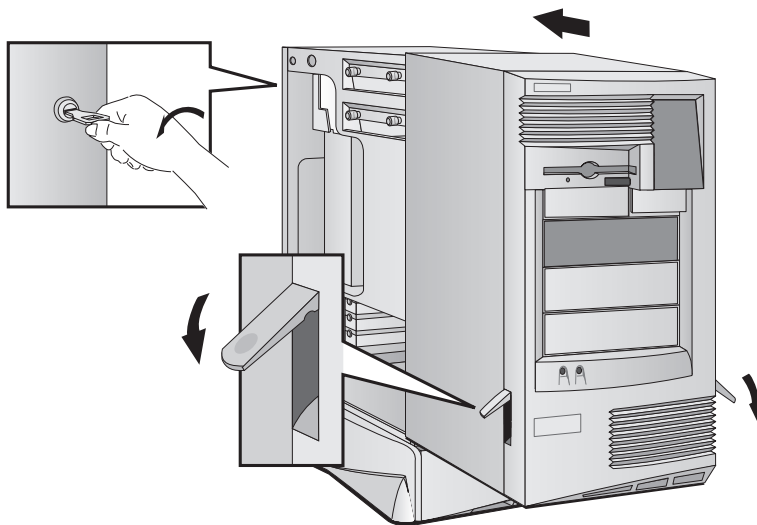


1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

カバーの取り付けと取り外し

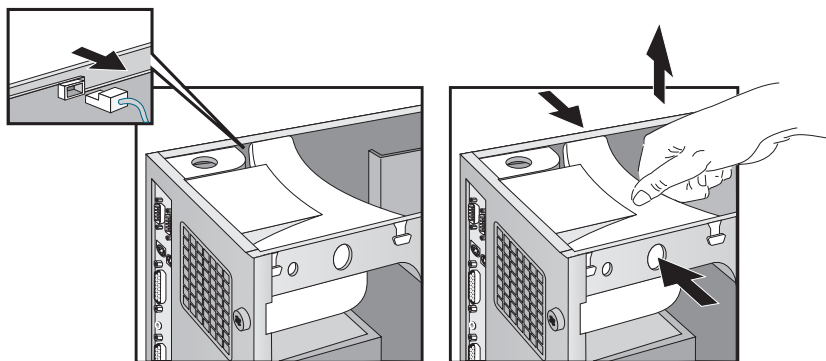
カバーの取り付け

- 1 すべてのアクセサリのインストールが完了しているか、また、本体内部のコード類がすべて正しく接続され、安全な位置にあるか確認します。
- 2 カバー前面横の2つのラッチが上がっているか、また、ロックが解除されているか確認します。
- 3 コンピュータ本体の底部両脇にあるレールとケースのガイドを合わせて、コンピュータ本体にカバーをかぶせます。最終位置まで確実にスライドさせてください。
- 4 カバー前面横のラッチを下ろします。
- 5 必要に応じて、付属のキーを使用してカバーをロックします。
- 6 電源コードや通信ケーブル等をすべて接続します。



エアフロー・ガイドの取り付けと取り外し

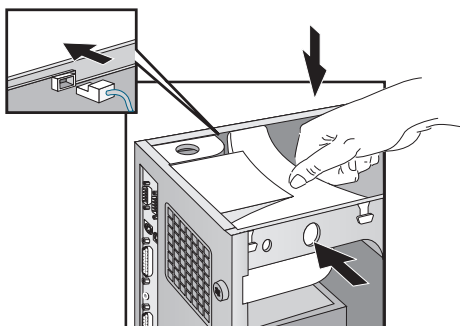
- 1 エアフロー・ガイドの両脇の留めボタンを押し、エアフロー・ガイドを PC ワークステーションのケースからやや上に取り出します。
- 2 システム・ボードのファン・コネクタを外し、PC ワークステーションのケースから完全にエアフロー・ガイドを取り出します。



アクセサリのインストールを行なう際は、作業をやすくするために、エアフロー・ガイドを取り外さなければならない場合があります。

HP UltraFlow エアフロー・ガイドを取り付ける

- 1 エアフロー・ガイドを PC ワークステーションのケース内に戻し、システム・ボードにファン・コネクタを接続します。
- 2 エアフロー・ガイドをケースの取り付けスロットに合わせ、カチッと音がするまで、しっかりと押し込みます。



メモリのインストール

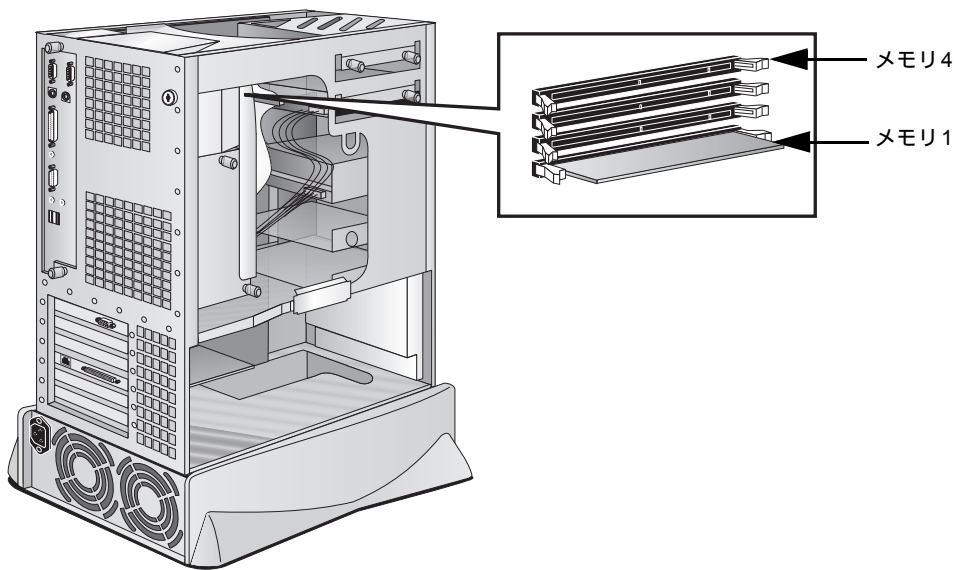
メイン・メモリ・モジュール

メイン・メモリの増設が必要な場合は、4つある DIMM スロットに合計 2GB までメモリをインストールできます。サポートされるメモリについての詳細は、2 ページの「サポートされる HP 製アクセサリ」を参照してください。

メイン・メモリ・モジュールは次の手順でインストールします。

- 1 コンピュータ本体の電源コードと LAN または通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します (3 ページ参照)。
- 3 HP UltraFlow エアフロー・ガイドを取り外します (5 ページ参照)。
- 4 システム・ボードから Ultra wide 16 ビット SCSI ケーブルを取り外します。
- 5 システム・ボードからフロッピーディスク・ドライブのデータ・ケーブルを外します。

下図に、メモリ・モジュール・スロットの位置を示します (図ではクリップが開いた状態です)。



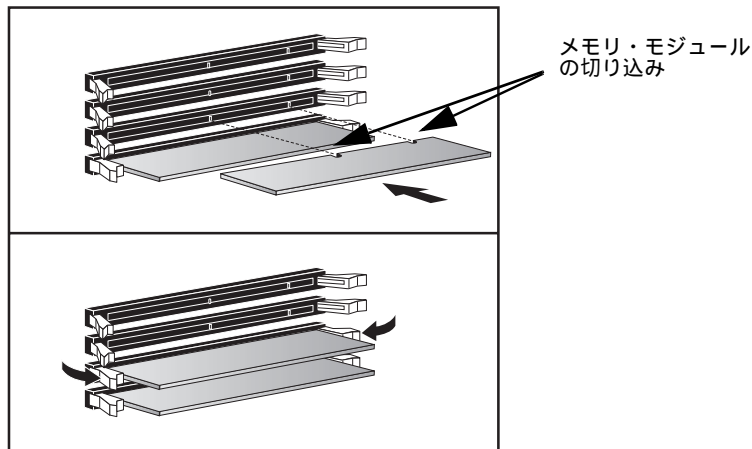
注記

作業をしやすくするために、システムボードが上向きになるようにPCワークステーションの側面を下にして置いてください。

- 6 システム・ボードに対して垂直になるように、メモリ・モジュールをスロットに挿入します(モジュールの切り込みがプロセッサの反対側になるようにメモリ・モジュールを持ちます)。

システム・ボードに対して垂直にメモリ・モジュールをスロットに挿入する

取り付けクリップがカチッと音をたてるまで、モジュールをコネクタに押し込む

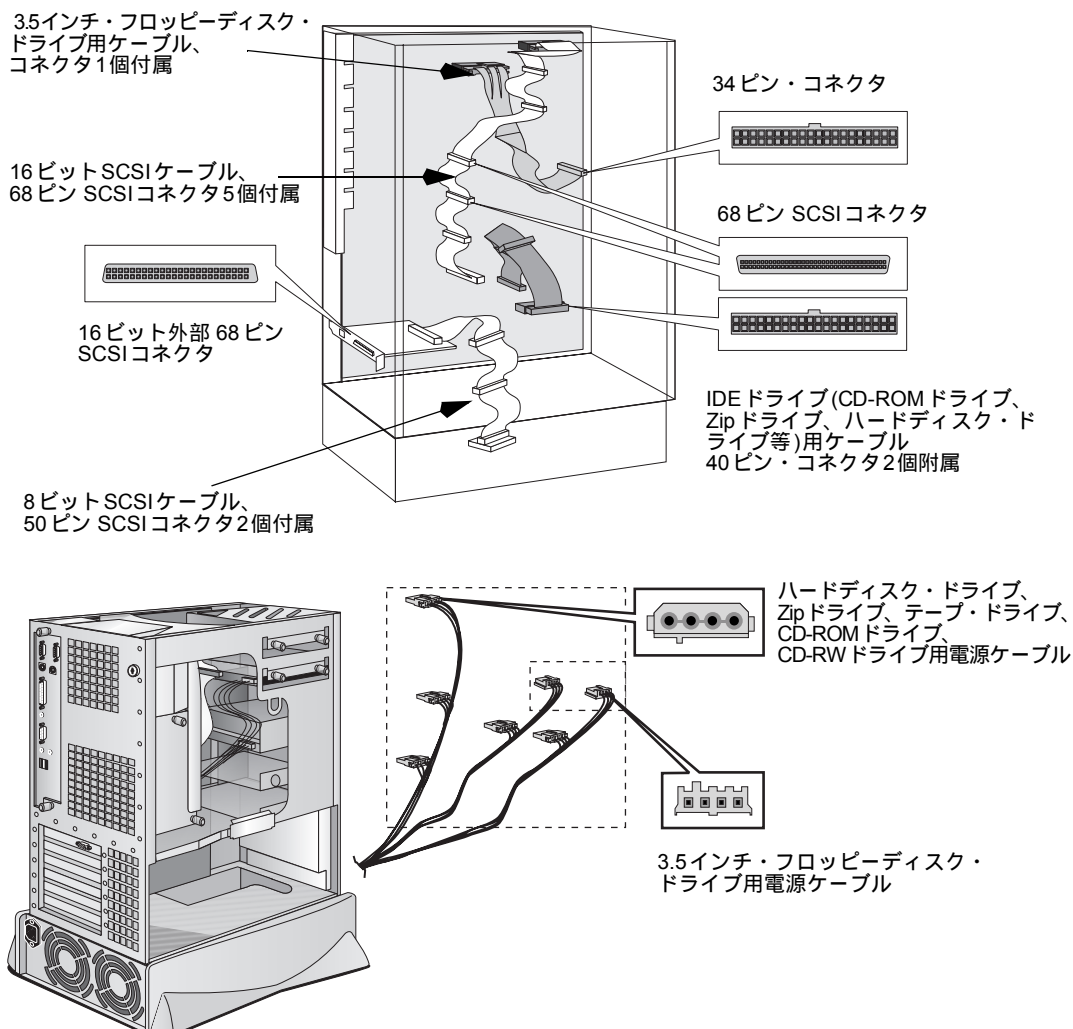


- 7 取り付けクリップがカチッと音をたてて所定の位置に収まるまで、モジュールを確実にコネクタに押し込みます。
- 8 この手順を繰り返して、必要な増設メモリ・モジュールをインストールします。
- 9 メモリ・モジュール以外にもインストールするアクセサリがあれば必要に応じてインストールします。カバー (4 ページ参照) とエアフロー・ガイド (5 ページ参照) を元のように取り付けます。
- 10 HP サマリ画面をチェックして、新しい構成が正しく設定されているか調べます (詳細については、60 ページの「HP サマリ画面と Setup プログラム」を参照)。

大容量記憶装置のインストール

デバイスの接続

IDE Zip ドライブ、ハードディスク・ドライブ、CD-ROM ドライブ、CD-RW ドライブ、テープ・ドライブなどを増設する場合は、それらのドライブを電源ケーブルやデータ・ケーブルに接続しなければなりません。付属のデータ・ケーブルやコネクタの種類と形状を下図に示します。



ディスク・ストライピング ディスク・ストライピングによって最大限のパフォーマンスを得るため、PCIソケット3に隣接してRAIDport™がシステム・ボードに搭載されています。

Adaptec® FastRAID2アクセサリがPCIソケットとRAIDportにインストールされている場合は、内部UltraWide 16ビットSCSIコントローラに接続されているハードディスクをディスク・ストライピングにする設定が自動的に行われ、処理速度が向上します。Adaptec® RAIDportアダプタは、ストライピングされたハードディスクが1基以上なければ使用できません。

詳細については、FastRAID2アクセサリに附属の『HP FastRAID Installation and Configuration Guide』をご覧ください。

IDEハードディスクをインストールする前に ドライブのインストール・ガイドを参照し、ジャンパの設定が必要か、特殊なインストール手順がないか確認してください。

SCSIハードディスクをインストールする前に SCSIドライブを増設する場合は、新しいドライブに未使用のSCSI IDを割り当てる必要があります。SCSI IDは、Ultra Narrow 8ビットSCSIの場合は0～6、Ultra Wide 16ビットSCSIの場合は0～15の範囲の番号です。SCSI ID 0は1台目のSCSIハードディスク・ドライブが使用し、SCSI ID 7は内蔵のSCSIコントローラ用に予約されています(Narrow/Wide SCSIデバイスに対するデフォルト設定)。

注記

ご使用のオペレーティング・システムによっては、Plug and Play 対応の SCSI デバイス(SCAM プロトコルをサポートしている SCSI デバイス)に対して SCSI ID を設定する必要があります。

HP FastRAID がインストールされている場合は、SCSI ID の設定が必要です。

増設したSCSIハードディスク・ドライブには、未使用のSCSI IDを割り当てなければなりません(例えば、SCSI ID 1)。

SCSI IDは、通常はSCSIハードディスク・ドライブ上のジャンパで設定します。SCSI IDを選択する方法については、ドライブに付属しているインストール・ガイドを参照してください。

内部SCSIディスク・ドライブによっては、コンピュータにインストールする前に、終端抵抗を取り外すか、無効にしなければならないものがあります。ドライブに固有のインストール手順などの詳細については、ドライブに付属のインストール・ガイドを参照してください。

1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

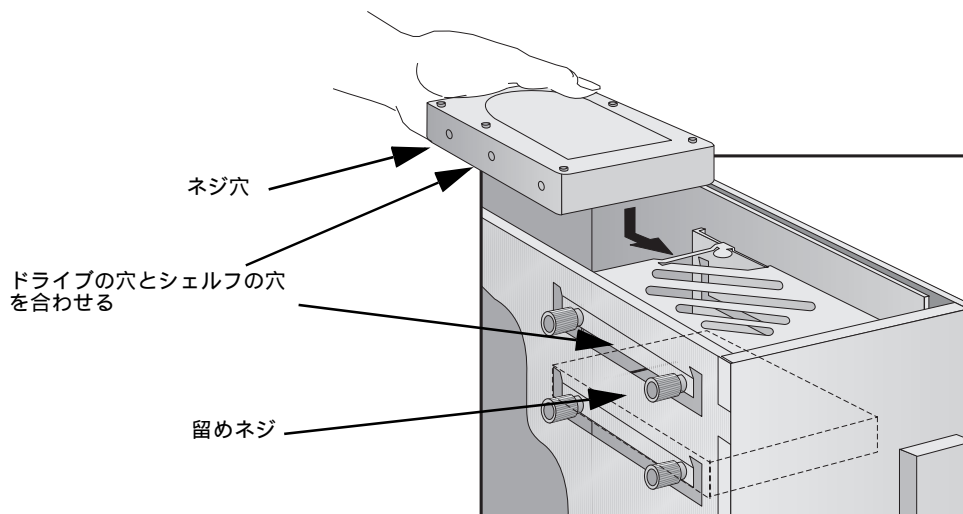
大容量記憶装置のインストール

ハードディスク・ドライブを内部シェルフにインストールする

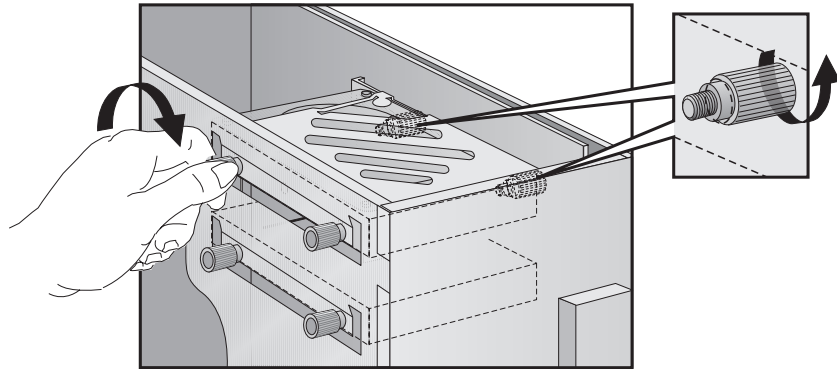
注意

高さが1インチ以上のハードディスク・ドライブは、必ず内部シェルフの下段にインストールしてください。

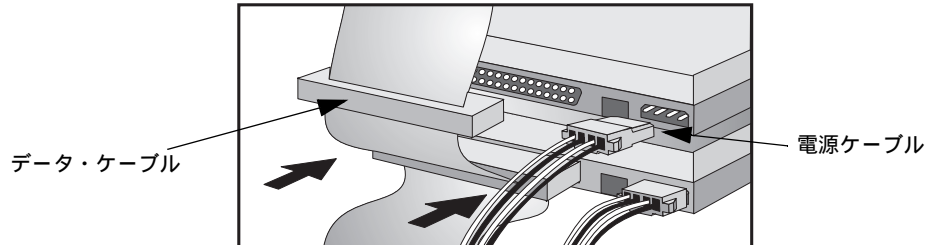
- 1 コンピュータ本体の電源コードとLANまたは通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します(3ページ参照)。
- 3 HP UltraFlow エアフロー・ガイドを取り外します(5ページ参照)。
- 4 1番目の内部シェルフにドライブをゆっくりと入れ、ドライブのネジ穴にシェルフの4本の留めネジを合わせます。



- 5 4本の留めネジを締めて、ドライブを固定します。



- 6 ハードディスク・ドライブに適切なデータケーブルを接続します(8ページ参照)。
- 7 ドライブ背面に電源ケーブルとデータ・ケーブルを接続します(コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています)。



- 8 HP UltraFlowエアフロー・ガイドを元のように取り付けます(5ページ参照)。
- 9 必要に応じて、その他のアクセサリをすべてインストールします。
- 10 14ページを参照して、インストールを完了します。

1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

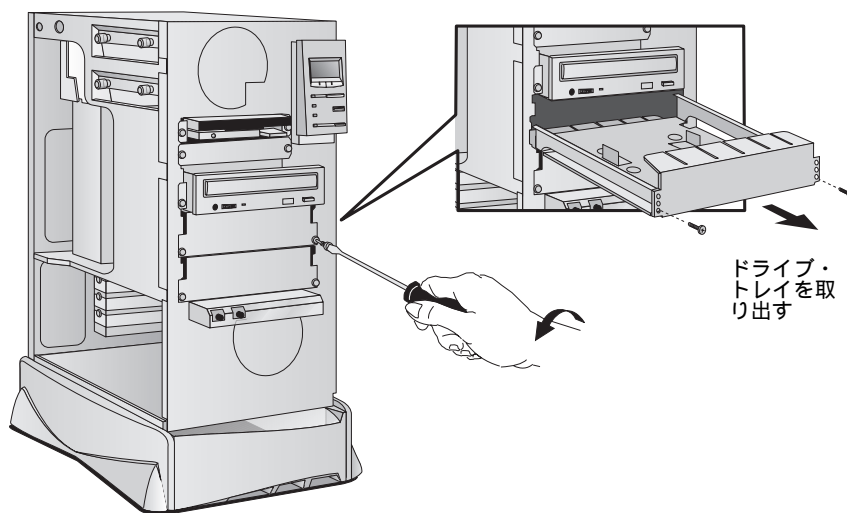
大容量記憶装置のインストール

ハードディスク・ドライブをフロント・アクセス・シェルフにインストールする

注記

ハードディスク・ドライブの設置や冷却が正しく行われるために、このシェルフには、高さ1インチ以下、転送速度7200 rpm以下のドライブのみインストールしてください。

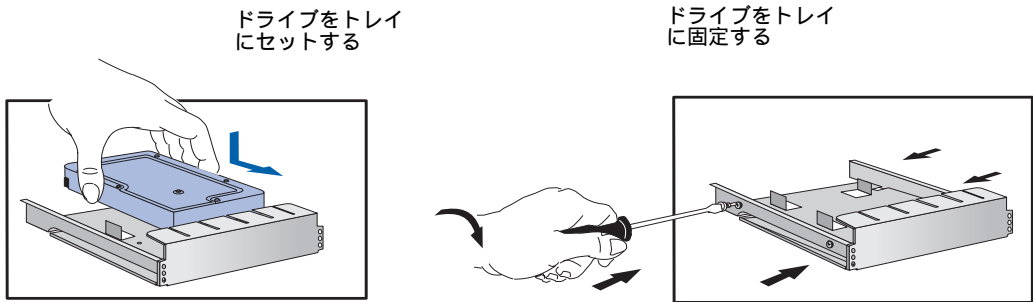
- 1 コンピュータ本体の電源コードとLANまたは通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します(3ページ参照)。
- 3 HP UltraFlow エアフロー・ガイドを取り外します(5ページ参照)。
- 4 未使用のドライブ・トレイのネジを外して取り出します。



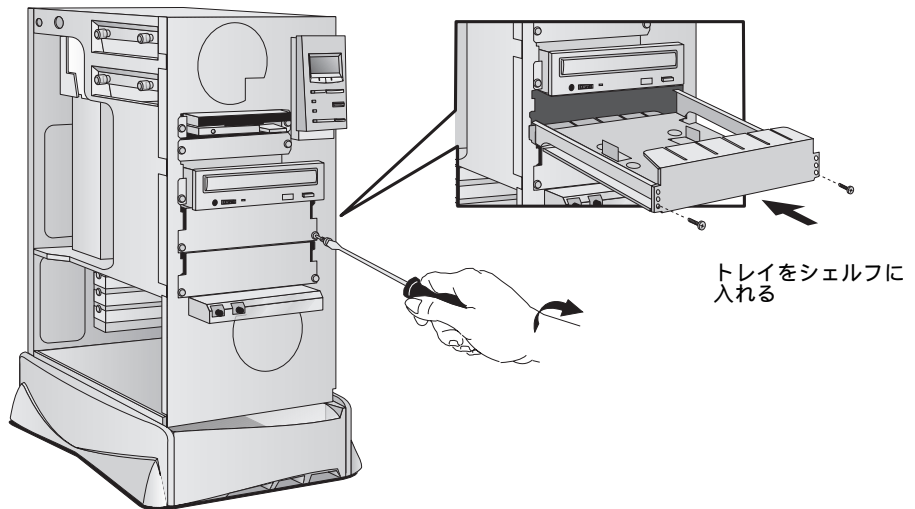
1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

5 下図のように、ドライブをトレイにセットします。



6 トレイをシェルフに戻し、ネジで留めます。



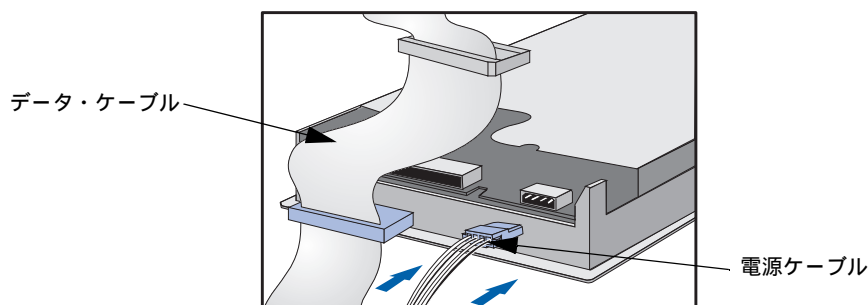
1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

- 7 ハードディスク・ドライブに適切なデータ・ケーブルを接続します(8ページ参照)。

作業がしやすいように、必要に応じて、SCSI ケーブルに接続されているデバイス・ケーブルを取り外し、PC ワークステーションのケースの外側に出しておきます。

- 8 デバイス背面にデータ・ケーブルと電源ケーブルを接続します(コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています)。



- 9 HP UltraFlowエアフロー・ガイドを元のように取り付けます(5ページ参照)。
- 10 必要に応じて、その他のアクセサリをすべてインストールし、カバーを元のように取り付けます。
- 11 次の手順にしたがって、インストールを完了します。

ハードディスク・ドライブのインストールを完了する

SCSIハードディスク・ドライブをインストールした場合

SCSIハードディスク・ドライブのインストール方法についての詳細は、次のHP ウェブ・サイトから『SCSI Administrator's Guide』をダウンロードしてお読みください。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

IDEドライブをインストールした場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れます。
- 2 POSTでインストールしたデバイスを表示させるには、PCワークステーションを再起動して、すぐ **[Esc]** キーを押します。
- 3 エラー・メッセージが表示された場合は、エラー・メッセージ・ユーティリティによって表示される指示に従ってください。プロンプトが表示されたら、**[F2]** キーを押して、Setup プログラムを立ち上げます。

- 4 Setup プログラムで **Advanced** メニューを選択し、次に **IDE Devices** サブメニューを選択します。 **IDE Primary Master** 項目で、インストールしたデバイスの詳細が正しく設定されているか確認します。
- 5 **[F3]** キーを押し、設定を保存して Setup プログラムを終了します。
ドライブのフォーマット方法については、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

注記

IDE ドライブが取り外された場合、BIOS によって、デバイスが不明であることが自動検出されます。**[F4]** キーを押して、デバイスを削除することを確定させてください。システム構成は自動的に更新されます。

ドライブをフロンアクセス・シェルフにインストールする

次にドライブ(フロッピーディスク・ドライブ、CD-ROM ドライブ、CD-RW ドライブ、テープ・ドライブなど)をフロンアクセス・シェルフにインストールする方法について説明します。インストールの詳細については、ドライブに付属のマニュアルも合わせてご覧ください。

IDE デバイスをインストールする前に

ドライブのインストール・ガイドを参照して、ジャンパを設定する必要はないか、特別な手順でインストールを行う必要がないか確認します。

SCSI デバイスをインストールする前に

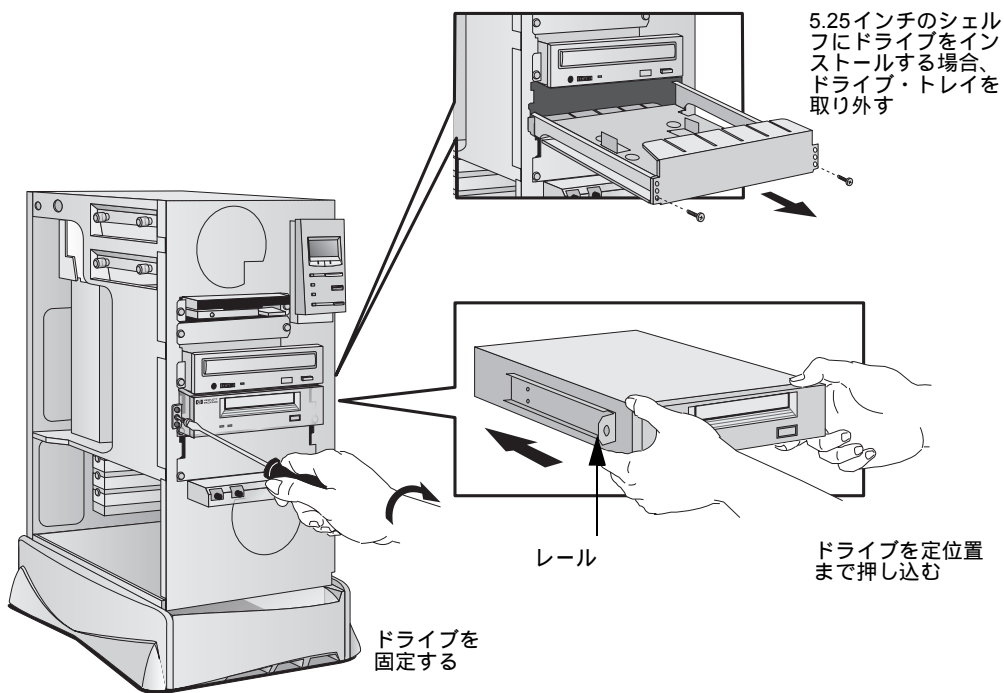
SCSI デバイスをインストールする場合は、9 ページの「SCSI ハードディスクをインストールする前に」を参照してから、以下の作業を始めてください。

- 1 コンピュータ本体の電源コードと LAN または通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します(3 ページ参照)。

1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

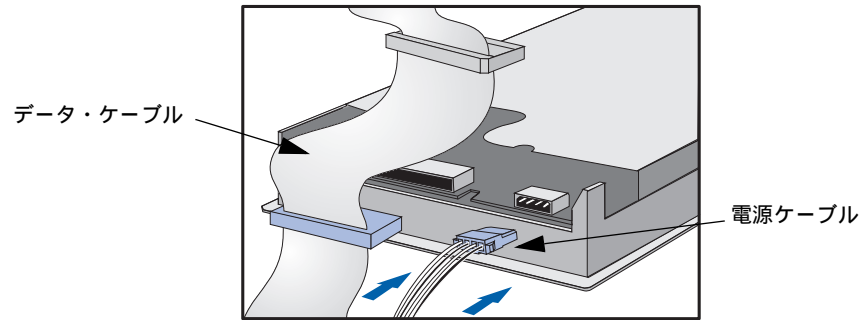
- 3 5.25 インチのシェルフにドライブをインストールする場合は、ドライブ・トレイを取り外して大切に保管しておきます。



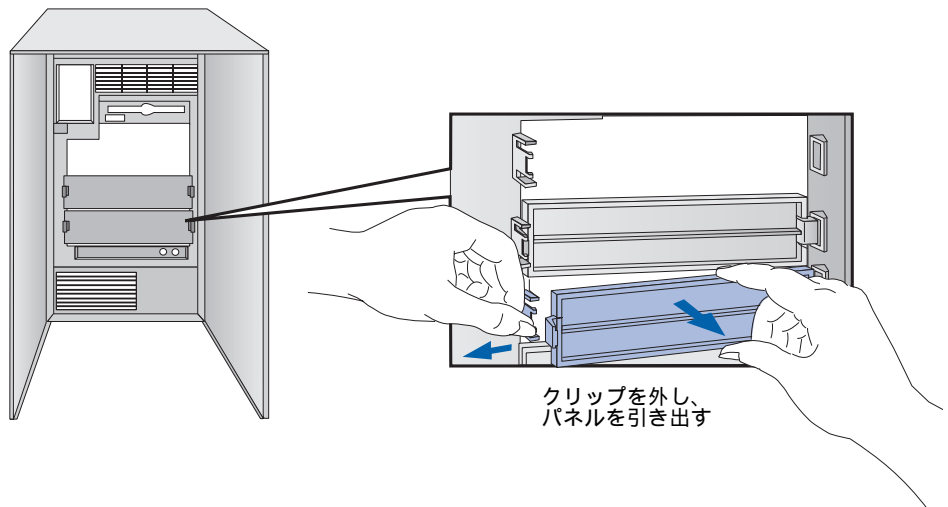
- 4 必要に応じ、ドライブを附属のドライブ・レールに取り付けます。
- 5 ドライブをシェルフにゆっくり押し込みます。
- 6 ドライブに附属のネジを締めて、固定します。
- 7 デバイスに適切なデータ・ケーブルを接続します(8ページ参照)。

作業をしやすくするために、必要に応じて SCSI ケーブルに接続してあるデバイスのケーブルを取り外してください。その場合、外したケーブルは PC ワークステーションのケースの外側に垂らしておくで後で接続しなおす時に便利です。

- 8 デバイス背面にデータ・ケーブルと電源ケーブルを接続します(コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています)。



- 9 プラスチックのパネルをカバーから取り外します。パネルの左側を手前に引き、右側のヒンジから外します。パネルは大切に保管しておいてください。



- 10 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます。

1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

ドライブのインストールを完了する

IDE CD-ROM / CD-RW
ドライブをインストール
した場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れ、**(F2) Setup**と表示されたら **(F2)** キーを押します。
- 2 Setup プログラムで Advanced メニューを選択し、次に IDE Devices サブメニューを選択します。IDE チャンネルで CD-ROM ドライブが検出されているか確認します。
- 3 **(F3)**キーを押し、設定を保存して Setup プログラムを終了します。

フロッピーディスク・
ドライブをインストール
した場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れ、**(F2) Setup**と表示されたら **(F2)** キーを押します。
- 2 Setup プログラムで Advanced メニューを選択し、次に Flexible Disk Drives サブメニューを選択します。フロッピーディスク・ドライブが検出されていることを確認します。
- 3 **(F3)** キーを押し、設定を保存して Setup プログラムを終了します。

アクセサリ・ボードのインストール

注意

電子部品は、静電気によって破壊されることがあります。アクセサリ・ボードをインストールするときは、すべての機器の電源を切り、衣服がアクセサリに触れないようにしてください。また、静電気の発生を防止するため、アクセサリを袋から取り出すときは、袋を電源装置の上に置いてください。アクセサリの取り扱いには細心の注意を払い、必要な箇所以外には触れないでください。

本PCワークステーションには、以下のアクセサリ・ボード・スロットがあります。

- ISA1/PCI 5スロット:16ビットISAボードまたはフルサイズ32ビットPCIボード用
- PCI 4スロット:フルサイズ32ビットPCIボード用 (LAN/SCSI 共用インタフェース・ボードをインストール済み)
- PCI 3スロット:フルサイズ32ビットPCIボード用。一部のモデルにはHP FastRAID アダプタをインストールしたRAIDport™ コネクタ搭載
- PCI 2スロット: フルサイズ32ビットPCIボード用
- PCI 1スロット: フルサイズ32ビットPCIボード用
- AGPスロット: ビデオ・アダプタ・ボード用

ボードをインストールする

- 1 コンピュータ本体の電源コードとLANまたは通信ケーブル等を取り外します。

注記

PCIボードの設定は、PCワークステーションにインストールされた時点で自動的に行われます。

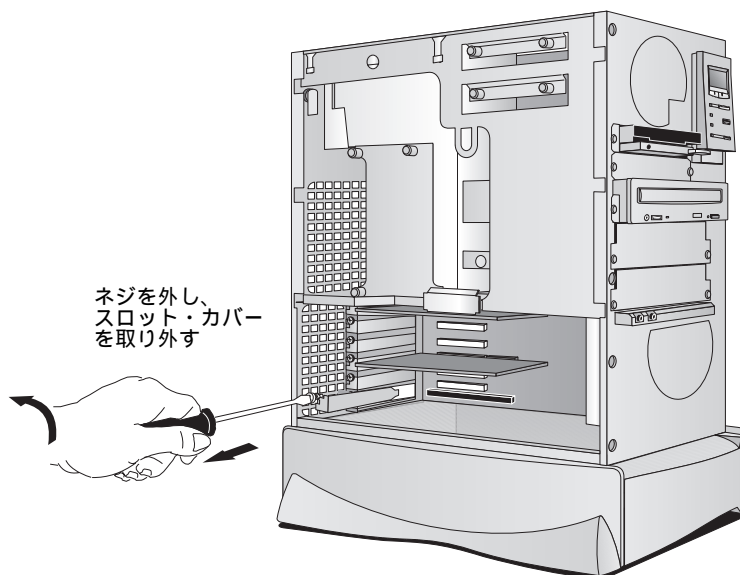
- 2 コンピュータのカバーを取り外し(3ページ参照)、PCワークステーションの横に静かに置きます。
- 3 空きスロットを探します。58ページの「システム・ボード・コネクタ」を参考にして、使用するスロット・タイプ(ISAまたはPCI)の位置を確認します。

ボードによっては、インストール先のスロットが指定されているものがあります。詳細は、各ボードのマニュアルを参照してください。

1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

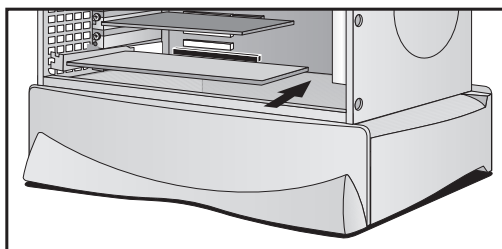
アクセサリ・ボードのインストール

- 4 ネジを外し、スロット・カバーを取り外します。取り外したスロット・カバーは、大切に保管してください。スロット・カバーが取り外しにくい場合は、隣接するスロットのネジをゆるめてください。



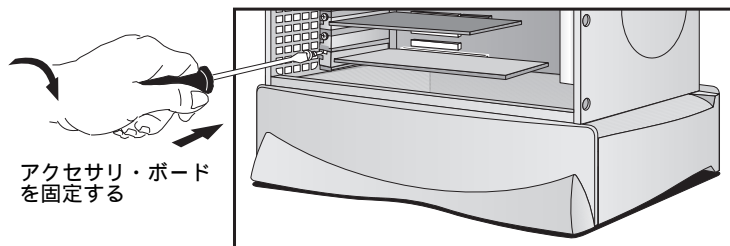
- 5 ボードの先端を持って、スロットのボード・ガイドに沿って押し込みます。このとき、ボードを曲げないようにしてください。

アクセサリ・ボード
を所定の位置に
差し込む



- 6 ボードのコネクタをスロットのソケットに合わせ、ボードをソケットに押し込みます。ボードのコネクタがソケットに確実に挿入され、またボードが他のボードの部品に接触していないことを確認します。

- 7 スロット・カバーのネジを取り付け、ボードを固定します。隣接するスロットのネジをゆるめていた場合は、それらも締め直します。



- 8 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたら、カバーを取り付けます(4ページ参照)。ケーブルや電源コードをすべて接続します。

ISAアクセサリ・ボードのインストールを完了する

割り込みを使用するISAアクセサリ・ボードをインストールした場合、Setupプログラムを実行し、そのアクセサリ・ボードのIRQを予約してください。

- 1 PCワークステーション本体の電源を入れ、**[F2]Setup**と表示されたら**[F2]**キーを押します。
- 2 Setupプログラムで、**Advanced**メニューを選択し、次に**ISA Resource Exclusion**サブメニューを選択します。IRQとIRQを使用中のデバイスの一覧が表示されます。変更したいIRQフィールド(例えば、IRQ 11)をハイライト表示します。
- 3 スペース・バー、または**[F7]**キーか**[F8]**キーを押し、IRQをISAに対して予約するか(**Reserved**) PCIに対して使用可能にします(**Available**)。
- 4 **[F3]**キーを押し、変更を保存してSetupプログラムを終了します。

注記

内蔵のPCIデバイスが使用できるように、少なくとも1つのIRQを常時使用可能にしておかなければなりません。

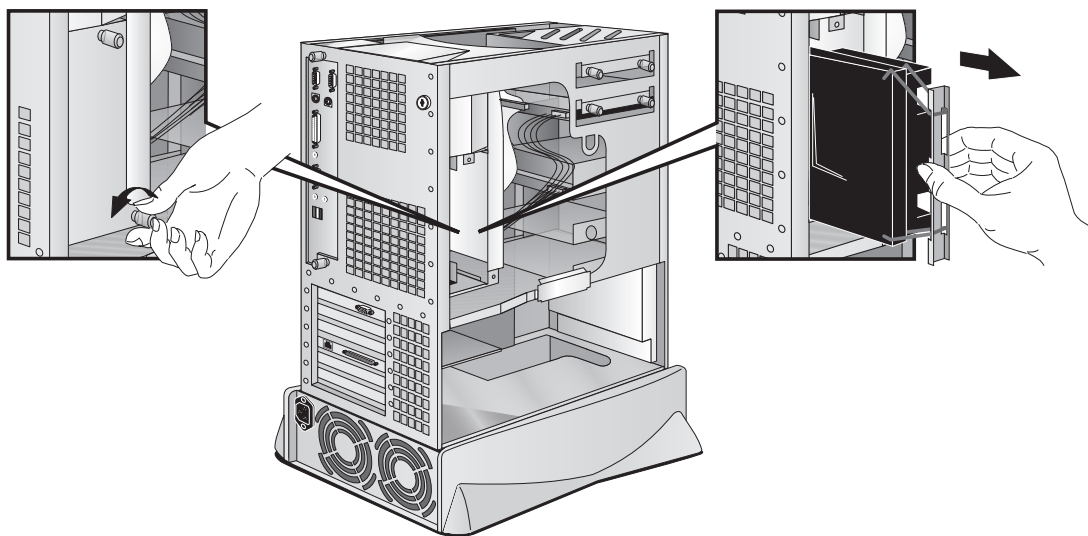
プロセッサのインストール

オペレーティング・システムによっては、パフォーマンス強化のために、2基のプロセッサの搭載をサポートしているものがあります。最新の情報については、販売代理店にお問い合わせください。

注記

Setup プログラムで2基目のプロセッサの使用を無効に設定することができます。

- 1 コンピュータ本体の電源コードとLANまたは通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します (3 ページ参照)。
- 3 2基目のプロセッサをインストールする場合は、HP UltraFlow エアフロー・ガイドを取り外します (5 ページ参照)。
- 4 4 本の留めネジを緩めて、プロセッサを固定している金属プレートを取り外します。



5 システム・ボードには2つのプロセッサ・ソケットがあります

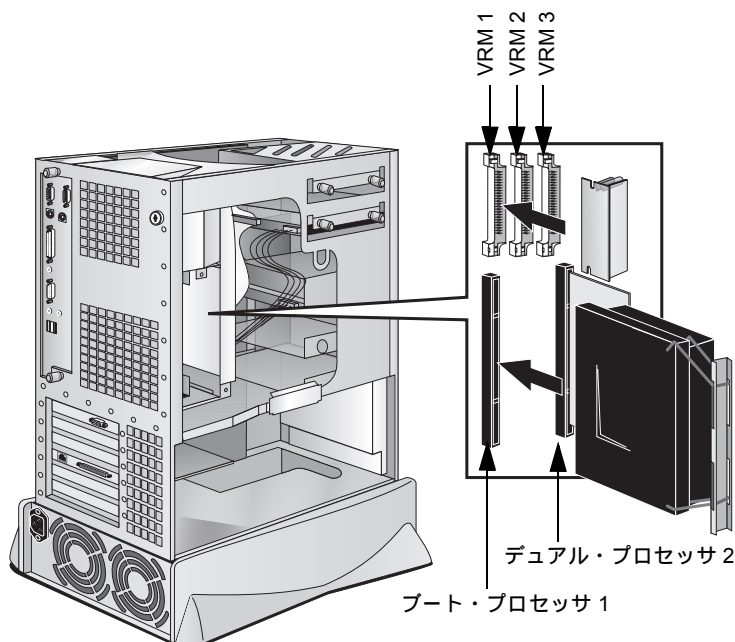
- a 既存の(ブート)プロセッサを他のプロセッサに取り替える場合は、プロセッサのハンドルを持ち、ゆっくりと引いてシステムボード上のソケットから取り外します。
- b 2基目の(デュアル)プロセッサをインストールする場合は、プロセッサ・ソケットからターミネータを取り外してから、静かにプロセッサを装着してください(プロセッサは一方方向にしか差し込めない形になっています)。

注記

インストールするプロセッサが既存のプロセッサより高速の場合は、既存のプロセッサを取り外してください。プロセッサを2基インストールする場合は、両方のプロセッサの動作速度(周波数)とキャッシュ・サイズが同じであることを確認してください(プロセッサの側面に記載されています)。

6 システム・ボードにはVRMソケットが3個あります。

- a プロセッサが1基のみ(ブート・プロセッサ・ソケットに)インストールされている場合は、VRMをVRM1とVRM2に装着してください。
- b プロセッサが2基インストールされている場合は、3枚目のVRMをVRM3に装着してください。



1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

プロセッサのインストール

- 7 金属プレートを取り付けます。
- 8 HP UltraFlowエアフロー・ガイドを元の位置に取り付けます(5ページ参照)。

プロセッサのインストールを完了する

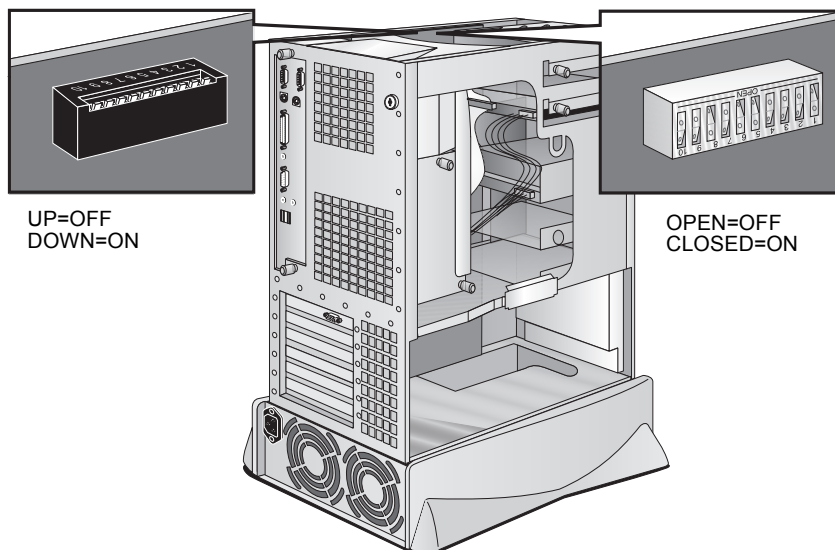
- 1 システム・ボードのバス速度スイッチが、インストールしたプロセッサに合わせて正しく設定されているか確認します。

注記

プロセッサを2基インストールした場合、両方のプロセッサが同じバス速度とプロセッサ速度で動作しなければなりません。

サポートされるバス速度とプロセッサ速度については、プロセッサに付属しているマニュアルで確認してください。

本PCワークステーションのシステム・ボード・スイッチは、本図に示した2種類のうちどちらかのタイプになります



スイッチ 2	スイッチ 3	スイッチ 4	スイッチ 5	外部バス速度	プロセッサ速度
OFF	ON	OFF	OFF	100 MHz	400 MHz
OFF	ON	OFF	ON	100 MHz	450 MHz
OFF	ON	ON	OFF	100 MHz	500 MHz

- 2 必要に応じ、その他のアクセサリをインストールします。

- 3 カバーを取り付けます(4ページ参照)。
- 4 コンピュータの電源を入れ、パワーオン・セルフ・テストを実行し、新しいプロセッサが認識されるかどうかチェックします。

注記

デュアル・プロセッシングを最適化するためには、Windows NT 4.0を再インストールする必要があります。

1 HP PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

プロセッサのインストール

HP PC ワークステーションのトラブル シューティング

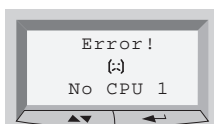
本章では、本 PC ワークステーションを使用する上での様々な問題の解決方法について詳しく説明します。

HP MaxiLife を使って問題点を診断する

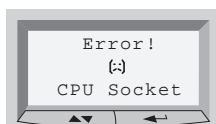
HP LCD を使用して、お使いのシステムとモニタが正常に動作していないときでも、PC ワークステーションの問題点を診断できます。

ブート前の確認

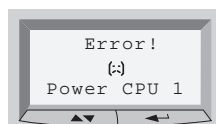
PC ワークステーションのオン/オフボタンを押すと、HP MaxiLife は、スタートアップ手順を開始する前にシステムのチェックを行います。チェックの実行中、次のいずれかのメッセージが LCD に表示されます。



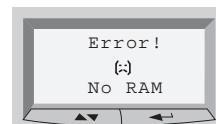
プロセッサがソケット1に正しくインストールされているかチェックしてください。



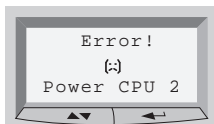
プロセッサまたはターミネータがプロセッサのソケットに正しくインストールされているかチェックしてください。



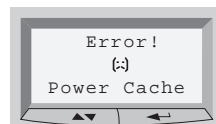
VRM1のインストールをチェックしてください。



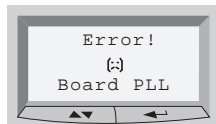
メモリのインストールをチェックしてください。



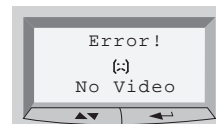
VRM3のインストールをチェックしてください。



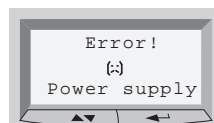
VRMがVRM 2ソケットに正しくインストールされていることを確認してください。



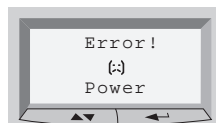
システム・ボードをチェックしてください。



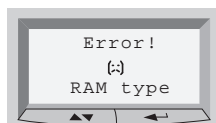
グラフィックス・カードのインストールが正しいかチェックしてください。



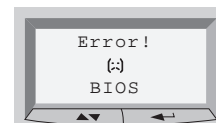
電源と電源ケーブルの接続が正しいかチェックしてください。



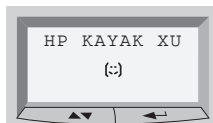
VRMとターミネータの設定が正しいか、電源の接続が適切かチェックしてください。



インストールしたRAMの互換性をチェックしてください。



新しいBIOSにアップデートするか、緊急スイッチ(システム・ボード・スイッチ10)を使用してシステムを起動してください。



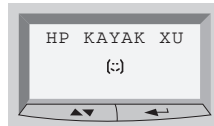
プリブート中にエラーは発生しませんでした。POSTが開始します。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

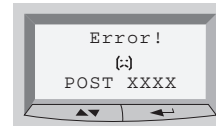
HP MaxiLife を使って問題点を診断する

POSTフェーズ

以上のチェックの後、POST (Power-On Self Test) が開始します。テスト中、次のいずれかのメッセージが表示されます。



エラーは発生しませんでした。



POSTエラーが発生しました。詳細は、36ページの「POSTエラー・メッセージが表示される」を参照してください。

その他の機能

HP MaxiLifeは以下の目的に合わせて設定することも可能です。

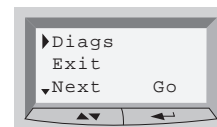
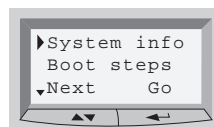
- サポートを受ける際に必要となる PC ワークステーションの設定内容を詳細表示する (System info)。
- パワーオン時に、POST(Power-On Self Test) の実行手順を表示する (Boot steps)。
- PC ワークステーションの各ハードウェア・コンポーネントに対して診断テストを行い、診断結果を表示する (Diags)。

HP LCDの設定方法

- 1 PC ワークステーションの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認します。

この状態で、(たとえシステムの電源が入ってなくても) PC ワークステーションのハードウェア管理チップはアクティブになっています。

- 2 LCDコントロール・ボタンのどれかを押すと、次の画面が表示されます。



- 3 ▼▲ を使ってメニュー項目をスクロールさせ、必要なメニュー項目のところで ← を押して選択します。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

HP MaxiLife を使って問題点を診断する

System Info.

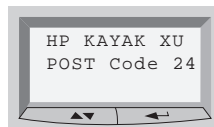
このメニューを選択すると、システム情報が LCD に一画面ずつ表示され、以下の項目の詳細を示します。

- Biosバージョン
- インストールされているメモリ・モジュールの数と容量
- プロセッサの数と速度
- シリアル番号

これらの詳細を表示するには、▼▲ ボタンを使って情報画面をスクロールさせます。

Boot Steps

Boot Steps オプションを選択すると（使用可能な場合）、次に PC ワークステーションの電源をオンにしたとき、すべての POST 手順が表示されます。サポートの便宜のため、POST 手順は、次のように POST コードで LCD に表示されます。



次に PC ワークステーションの電源をオンにしたとき、Post の手順が LCD に表示されます。

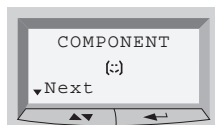
Diags

Diags オプションが選択されているときに PC ワークステーションの電源がオフになると、LCD に第 2 メニューが表示されます。診断テストを実行するには、このメニューから [Power on] を選択して、システムの各コンポーネントのステータスを評価するためのハードウェア管理チップを有効にします。

PC ワークステーションの電源がすでにオンになっている場合は、LCD のメイン・メニューで Diags を選択するとすぐに診断テストが開始します。

各システム・コンポーネントのテスト結果を見るには、▼▲ コントロール・ボタンを押します。

コンポーネント・エラーが何も検出されなかった場合は、次の画面が表示されます。



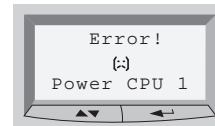
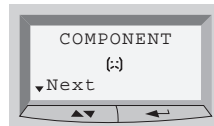
エラーは検出されませんでした。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

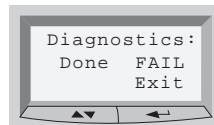
HP MaxiLife を使って問題点を診断する

エラーが検出された場合は、問題点を示したエラー画面が表示されます。他のシステム・コンポーネントのテスト結果を続けて表示するには、▼▲コントロール・ボタンを押します。

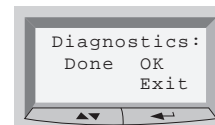
例えば、ブート・プロセッサに問題がある場合、次のエラー画面が現れます。詳細は、35ページの「内部項目の点検」を参照してください。



診断テストが完了すると、次のいずれかの画面が表示されます。



システム・エラーが検出されました。



エラーは検出されませんでした。

テスト・セッションを終了するには、◀ボタンを押します。

HP DiagTools(ハードウェア診断ユーティリティ)

DiagToolsにより、HPのPCとPCワークステーション上で起きるハードウェア関連の不具合の診断が容易になります。このユーティリティには、次のような機能があります。

- システムの設定をチェックし、システムが正常に機能していることを検証する。
- ハードウェア関連の不具合を診断する。
- HP のサポート担当者が不具合を迅速かつ効率的に解決できるよう、正確な情報を提供する。

ユーティリティのインストール

まず、このユーティリティの最新バージョンをインストールして、使用方法を理解しておいてください。

インストール方法とインストール先については、『Vectra/Kayak Hardware Diagnostic User's Guide』に記載されています。本ガイド (PDF 形式 =Adobe Acrobat) は、HPのWWWサイトからダウンロードしてお読みください。

ハードウェア関連の不具合の診断には、常に最新バージョンが必要不可欠です。サポートをお受けになる際は、必ず最新バージョンをご用意ください。

最新バージョンは、毎日 24 時間利用可能な HP 電子情報サービスから入手することができます。

電子情報サービスへは、次のHP WWWサイトからアクセスしてください。

<http://www.hp.com/go/Kayaksupport>

診断ユーティリティの 本ユーティリティは、以下の手順で開始します。
開始

- 1 すべてのアプリケーションを終了し、オペレーティング・システムをシャットダウンして、PCワークステーションを再起動します。
 - a ディスクからユーティリティを起動する場合は、ディスクをフロッピーディスク・ドライブに挿入してからPCワークステーションを再起動します。再起動するとただちに、ユーティリティが自動的に実行され、Welcome画面が表示されます。
 - b ハードディスク・ドライブからユーティリティを実行する場合は、再起動時に通常のオペレーティング・システムとユーティリティのどちらかを選択するオプションが表示されます。Vectra/ Kayak Hardware Diagnostics オプションを選択すると、ユーティリティが自動的に起動し、Welcome画面が表示されます。
- 2 **[F2]**キーを押して次に進みます。画面に表示される指示にしたがって、診断テストを実行します。

ユーティリティは、システムのハードウェア構成を自動検出した後、ただちに診断テストを実行します。

ベーシック・システム・テスト

システム・ハードウェアの稼動状態を検証するには、ベーシック・システム・テストを実行します。

アドバンスト・システム・テスト

各システム・コンポーネント内部のより綿密なテストを行うには、アドバンスト・システム・テストを実行します。

注記

アドバンスト・テストは、中級または上級ユーザの方に適しています。

サポート・チケット

システム構成やテスト結果の記録を正しく残しておくためにサポート・チケットを作成してください。サポート・チケットは、最寄りのHPサポート窓口まで電子メールまたはファックスでお送りください。

本ユーティリティの使用方法についての詳細は、『Vectra/Kayak Hardware Diagnostics User's Guide』に記載されています。本ガイドは下記のHP WWW サイトからダウンロードしてお読みください。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

PCワークステーションを正常に起動できないとき

電源を入れてもPCワークステーションが起動しない場合、また次のような症状がある場合は、本項を参照してください。

- 画面が表示されず、エラー・メッセージもない。
- Setup プログラムで値を変更できない。
- POSTエラー・メッセージが表示される。
- LCD画面にエラー・メッセージと(⚠)アイコンが表示される(28ページの「HP MaxiLife を使って問題点を診断する」を参照)。

画面が表示されず、エラー・メッセージもない

電源を入れても画面が表示されず、エラー・メッセージもない場合は、次の手順にしたがってください。

- 1 LCD画面の点検 (28ページの「HP MaxiLife を使って問題点を診断する」を参照)
- 2 外部項目の点検
- 3 内部項目の点検
- 4 アクセサリの再インストール(36ページ参照)

外部項目の点検

次のような外部項目が正しく機能しているか確認します。

- コンピュータとディスプレイの電源は入っているか(電源ライトが点灯しているか)。
- ディスプレイのコントラストや輝度の調節は適切か。
- ケーブルや電源コードはしっかりと差し込まれているか。
- 電源コンセントに異常はないか。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

PC ワークステーションを正常に起動できないとき

内部項目の点検

外部項目に異常が発見されない場合は、次の手順で内部項目を点検してください。

- 1 ディスプレイ、コンピュータ本体、すべての周辺装置の電源をオフにします。
- 2 すべての電源コードとケーブルをそれらの位置を確認しながら外します。
通信ケーブル等も外します。
- 3 コンピュータ本体のカバーを取り外します。次の項目を点検します。

LCD エラー メッセージ	対処方法	参照
-	内部ケーブルをすべて点検する	接続箇所や接続状態が正しいか確認する
Power CPU 1 Power CPU 2 Power Cache	プロセッサと VRM が正しくインストールされているか確認する	22 ページの「プロセッサのインストール」を参照
CPU error	PC ワークステーションをリセットするか、LAN の電源をオフにする	PC ワークステーションの『ユーザーズ・ガイド』を参照
No RAM, RAM type	メモリ・モジュールのインストールは正しいか確認する	6 ページの「メモリのインストール」を参照
-	アクセサリ・ボードがスロットにきちんと装着されているか確認する	19 ページの「アクセサリ・ボードのインストール」を参照
-	アクセサリ・ボードのスイッチやジャンパの設定は正しいか確認する	各ボードのマニュアルを参照
-	システム・ボードのスイッチの設定は正しいか確認する	59 ページの「システム・ボード・スイッチ」を参照
Temp disk, Temp CPU, Temp IO slot	ファンを点検し、エアフロー・ガイドが妨げられていないか確認する	-
Fan CPU, Fan disk Fan IO slot	ファンのインストールは正しいか確認する	-
Power supply	電源の接続は正しいか確認する	-
Power	電源の接続、またはターミネータや VRM のインストールは正しいか確認する	22 ページの「プロセッサのインストール」を参照
No video	ビデオ・カードのインストールは正しいか確認する	ビデオ・カードのマニュアルを参照

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

PC ワークステーションを正常に起動できないとき

LCD エラー メッセージ	対処方法	参照
No CPU 1	ブート・プロセッサがソケット 1 に正しくインストールされて いるか確認する	22 ページの「プロセッサのイン ストール」を参照
CPU Socket	プロセッサまたはターミネータ がソケット 2 に正しくインス トールされているか確認する	

- 4 カバーを取り付けます。
- 5 ケーブルや電源コードをすべて接続します。
- 6 ディスプレイとPC本体の電源をオンにします。

アクセサリの
再インストール

以上の点検でもPCワークステーションが起動できないときは、ハードディスクとビデオ・ボード以外の増設ボードやアクセサリを取り外します。PCワークステーションを起動し、PCワークステーションが正常に働くときは、アクセサリ・ボードやアクセサリを一つずつ取り付けて、どれに問題があるかを調べます。





Setup プログラムの値を変更できない

パスワードの入力が正しかったかどうか確認します。

POSTエラー・メッセージが表示される

POST(パワーオン・セルフ・テスト)は、エラーと設定への変更を検出します。どちらの場合も、エラー・コードと短い説明文が表示されます。エラーの種類によって、次に示すうち一つまたはいくつかの選択が可能です。

- **[F1]**キーを押して、メッセージを無視しプロセスを続けます。
- **[F2]**キーを押してSetupプログラムを実行し、システム設定エラーを修正します。そのままで一応システムがスタートできるような場合でも、ここでエラーを解決しておくことをお勧めします。
- **[F4]**キーを押して変更を認め、Setupの設定情報を更新します。

-  キーを押せば、メッセージの詳細を表示できます。見終わった後は、POST 画面に戻ります。メッセージが、行なった変更（例えばメモリの一部を取り外したなど）を原因とする適正なもの場合は、 キーを押して変更情報を認め、Setup の設定情報を更新します。または、 キーを押してメッセージを無視しプロセスを続けるか、 キーを押して Setup プログラムを実行し、システム設定エラーの修正を行います（選択肢の数は、エラーの種類によって異なります）。



設定メモリのクリア PCワークステーションをスタートできても、まだPOSTでエラーが報告される場合は、設定メモリの値をクリアして内蔵のデフォルト値を再ロードします。

- 1 PC ワークステーションの電源を切り、電源コードやネットワーク・ケーブルを外します。PCワークステーション本体のカバーを取り外します。
 - a システム・ボード・スイッチの6(CLEAR CMOS)をONの位置にして既存の設定をクリアします。
 - b カバーを取り付け、電源コードのみを接続します。
 - c PCワークステーションの電源を入れます。これによりCMOSメモリがクリアされます。
 - d PCワークステーションの起動を待ちます。次を意味するメッセージが表示されます。
「設定はクリアされました。スイッチ Clear CMOS を OPEN の位置にした後、再起動してください」
 - e PCワークステーションの電源を切り、電源ケーブルを外して、カバーを取り外します。
 - f システム・ボード・スイッチの6(CLEAR CMOS)をUPの位置にして、設定を保持します。
- 2 カバーを取り付け、電源コードやケーブルを接続します。
- 3 PC ワークステーションの電源を入れます。次を意味するエラー・メッセージが表示されます。

画面上：

PC ワークステーションの LCD 上：

「PC の設定が正しくありません」 **Error! POST 0012**

起動がストップします。 キーを押し(システム・エラーが表示されます)、続いて  キーを押します。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

PC ワークステーションを正常に起動できないとき

- 4 **[F2]**キーを押して、Setup プログラムを実行します。CMOS デフォルト値は、自動的にロードおよび保存されます。
- 5 ここで必要なすべての変更を行ない、**[Esc]**キーを押して設定を保存し、Setup プログラムを終了します。

PC ワークステーションの電源を切れないとき

PC ワークステーションを終了できず、電源ランプが点灯して低い唸り音が聞こえるときは、本項を参照してください。

- PC ワークステーションがロックされていないか確認します。ロックされていると、電源を切ることはできません。ロック中は、電源ライトが赤に点灯します。PC ワークステーションのロックを解除するには、パスワードを入力する必要があります。
- サスペンド・モードまたはスタンバイ・モードになっていないか確認します。サスペンド・モードやスタンバイ・モードになっていると、電源ライトがオレンジに点灯しています。この状態で電源をオフにすると、情報やデータを失うおそれがあります (HP Setup プログラムの **Power** メニューを参照)。

注意

電源オン / オフボタンを 4 秒間押し続けると、システムは自動的に終了します。ただし、オペレーティング・システムの正式な終了の仕方ではないのでご注意ください。

ハードウェアに問題があるとき

本項では、ディスプレイ、ディスク・ドライブ、プリンタ、アクセサリ・ボード、キーボード、およびマウスの問題の解決方法について説明します。

ディスプレイが動作しない

表示がぶれたり、
表示が読めない

ディスプレイの選択が正しくないと、表示がぶれたり、読めなかったりすることがあります。このような場合は、ご使用のオペレーティング・システムの手順にしたがって適切なディスプレイを選択してください。詳細は、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

画面に何も表示
されない

画面に何も表示されないものの、コンピュータが起動し、キーボードやディスク・ドライブ、その他の周辺機器が正常に動作していると思われるときは...

- PCワークステーションのLCD表示を参考に問題点を診断します。28ページの「HP MaxiLifeを使って問題点を診断する」を参照。
- ディスプレイの電源コードが接続されていて、電源がオンになっているか確認します。
- 輝度とコントラストの調節が適切か調べます。
- ディスプレイのビデオ・ケーブルの接続が正しいか調べます。
- ディスプレイの電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。
- ビデオ・ケーブルを外し、コネクタ・ピンを点検します。もしピンが曲がっていれば、注意して直します。
- ビデオをアップグレードした場合、そのインストールが適正か調べます。
- POSTの間ディスプレイが正常でも、Windowsを起動すると画面が消える場合は、選択したビデオ・モードに対する十分なメモリがあるか調べます。VGAモードでオペレーティング・システムを起動してください(システムによって有効)。
- ディスプレイのリフレッシュ・レートが高過ぎると、画面が消えることがあります。リフレッシュ・レートの設定が適切か調べてください。

その他のディスプレイの問題 画像の位置が画面と合っていないとき、ディスプレイを調節して矯正します(ディスプレイのマニュアルを参照してください)。アプリケーションの生成する画像がおかしいときは、アプリケーションのマニュアルを調べて必要な画像規格を確認します。またディスプレイのマニュアルを参照して、適切なリフレッシュ・レート調べます。オペレーティング・システムに示された手順にしたがって、正しいリフレッシュ・レートを設定します。

Kayak XW PC ワークステーション搭載グラフィックス・ボードのトラブルシューティング

本ワークステーションにHP VISUALIZE Fx6 グラフィックス・アクセラレータが搭載されている場合は、『HP VISUALIZE Fx6 コンフィグレーション/トラブルシューティング・ガイド』を参照してください。本ガイドは、次の HP ウェブ・サイトからダウンロードしてご使用ください。

(<http://www.hp.com/go/kayaksupport>)

キーボードが動作しない

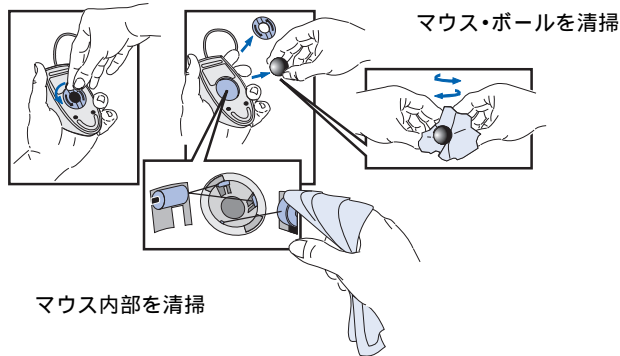
- キーボードを正しく接続しているか調べます(キーボードが接続されていないときは、キーボードのアイコンが画面に表示されます)。
- PC ワークステーションの電源を入れ、オペレーティング・システムを起動したが、キーボードが正しく接続されているにもかかわらずキーボードを使用できないときは、パワーオン・パスワードが "keyboard locked" に設定されている可能性があります。キーボードとマウスのロックを解除するには、パスワードの入力が必要です。この設定は、Setup プログラムにより変更することができます。HP Setup プログラムの **Power** メニューを参照してください。
- キーボードのソフト・キーが動作しない場合は、本 PC ワークステーションに同梱の HP CD-ROM(¥**keyboard** ディレクトリ内)に収録されているキーボード・ドライバをインストールしてください。
- **Mute** キーまたは **Volume** キーが動作しない場合は、本 PC ワークステーションに同梱の HP CD-ROM(¥**audio** ディレクトリ内)に収録されているサウンド・ドライバをインストールしてください。
- **Lock** キーが動作しない場合は、HP **Lock** ユーティリティが正しくインストールされ、設定されているか確認してください。
- **TopTools** キーが動作しない場合は、HP TopTools が正しくインストールされているか確認してください。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアに問題があるとき

マウスが動作しない

- マウスを正しく接続しているか確認します。
- プリインストールされたソフトウェアに付属のマウス・ドライバが、正しくインストールされているか確認します。
- 次の図で示すようにして、マウスのボールとローラーの汚れを取ります (不織布などを使用します)。



フロッピーディスク・ドライブが動作しない

- フォーマットされたフロッピーディスクを、正しく挿入しているか確認します。
- 適正な密度のフロッピーディスクか確認します。
- Setup プログラムでフロッピーディスク・ドライブの設定が正しいか確認します (Advanced Flexible Disk Drive)。
- Setup プログラムでフロッピーディスク・ドライブが無効に設定されていないか確認します (Advanced Flexible Disk Drive)。
- Setup プログラムで、[Flexible Disks] 設定項目と [Write on Flexible Disks] 設定項目が [Locked] に設定されていないか確認します (Security Hardware Protection)。
- クリーニング・キットでフロッピーディスク・ドライブを清掃します。
- ディスク・ドライブの電源とデータ・ケーブルが正しく接続されているか確認します。

ハードディスク・ドライブが動作しない

- ディスク・ドライブの電源とデータ・ケーブルが正しく接続されているか確認します(8ページの「デバイスの接続」を参照)。
- IDE ドライブの場合、Setup プログラムで [IDE Devices] 設定を確認します (**Advanced IDE Devices**)。
- IDE ドライブの場合、Setup プログラムで [Hardware Protection] 設定を確認します (**Security Hardware Protection**)。
- IDE ドライブの場合、Setup プログラムで [Boot Device Security] 設定を確認します (**Security Boot Devices Security**)。
- SCSI ドライブの場合、Setup プログラムで [SCSI Interface] 設定を確認します (**Advanced Internal Wide 16-bit SCSI** または **External\Internal 16\8-bit SCSI**)。SCSISelect Utility (Adaptec) または Configure SCSI Utility (Symbios) でも同様に確認します。詳細は、HP ウェブ・サイトから『SCSI Administrator's Guide』をダウンロードしてご覧ください。

ハードディスク動作
ライトが点灯しない

ハードディスクにアクセスしていても、ハードディスク動作ライトが点灯しないときは...

- コントロール・パネル・コネクタが、システム・ボードにしっかりと接続されているか確認します。
- ハードディスクの電源とデータ・ケーブルが、しっかりと接続されているか確認します。
- SCSI/LAN 共用ボード上の外部起動ケーブルの接続が正しいか確認します。

ICD-ROM ドライブに問題があるとき

CD-ROM ドライブが動作しない

- ケーブルが正しく接続されているか確認します。
- CD-ROM がドライブの中に挿入されているか確認します。
- Setup プログラムで [IDE Devices] 設定を確認します (**Advanced IDE Devices**)
- Setup プログラムで [Hardware Protection] 設定を確認します (**Security Hardware Protection**)。
- Setup プログラムで [Boot Device Security] 設定を確認します (**Security Boot Devices Security**)。
- Setup プログラムで [Integrated Bus IDE Adapters] 設定項目が Both に設定されているか確認します (**Advanced IDE Devices**)

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアに問題があるとき

CD-ROMで音を再生できない

CDを再生しようとして問題があるときは ...

- CD-ROM や CD-RW ドライブのフロントパネルに音量調節つまみがある場合、最小にしぼられていないか確認します。
- CD-ROMドライブ中のディスクがフォトCDやデータCDでなく、オーディオ・ディスクであるか確認します。
- ヘッドフォンや外部スピーカを使用しているときは、それらがCD-ROM用のオーディオ・ジャックではなくオーディオ・フロント・パネルに正しく接続されているか確認します。
- CDオーディオのスイッチがmixerにセットされているか確認します(正しく選択されている場合は、タスクバーにスピーカの形のアイコンが表示されます)。
- CD オーディオ・ケーブルが正しくインストールされ、システム・ボードに接続されているか確認します。

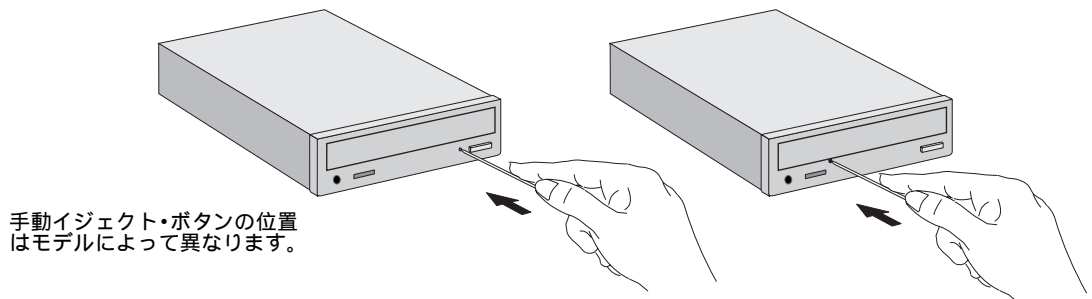
CD-ROMドライブがアイドル

CD-ROMドライブが動作していないと思われるときは、CD-ROMドライブ・アイコンやオペレーティング・システムによってCD-ROMドライブに割り当てられたドライブ名をクリックし、ディスクへのアクセスを試みます。

CD-ROMドライブのドアが開かない

停電などでCD-ROMドライブからCD-ROMディスクを取り出せない場合は、手動イジェクト・ボタンを使用すると、ディスクを取り出すことができます。手動イジェクト・ボタンは次のように使用します。

- 1 CD-ROMドライブ前面に手動イジェクト・ボタンが見つからない場合は、CD-ROMドライブのフロント・ベゼルを取り外します。手動イジェクト・ボタンは、CD-ROMドライブ前面の小さな穴の中にあります。
- 2 クリップの先端など、先の細い棒で手動イジェクト・ボタンを押します。



- 3 CD-ROMドライブのドアがゆるんで、やや開いた状態になります。ゆっくりとドアを開けて、中のディスクを取り出します。
- 4 CD-ROMドライブのドアをゆっくり押して閉めます。停電などで機能が完全に回復していないときは、CD-ROMドライブのドアが完全には閉じない場合があります。このようなときは電源が入れば完全に閉まります。
- 5 必要に応じて、CD-ROMドライブのフロント・ベゼルを取り付けます。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアに問題があるとき

アクセサリ・ボードが動作しない

次の項目について点検します。

- ボードがアクセサリ・ボード・スロットにしっかりと装着されているか確認します。
- アクセサリ・ボードが正しく設定されているか確認します。
- アクセサリ・ボードが、すでに PC ワークステーションによって使用されているメモリ、I/O アドレス、IRQ、DMA を使用していないか確認します。詳細は 56 ページの「本 PC ワークステーションが使用する IRQ、DMA、I/O アドレス」を参照してください。

ソフトウェアに問題があるとき

ハードウェア・パスワードを忘れたとき

注記

オペレーティング・システムのパスワードを忘れてしまった場合は、オペレーティング・システムのマニュアルを参照して正しい復帰方法を調べてください

- ユーザ・パスワードを忘れても管理者パスワードは分かっているときは、次の手順を行ないます。
 - 1 PCワークステーションの電源を切ります。
 - 2 PCワークステーションを再起動します。
 - 3 **[F2]**Setupが表示されるのを待ちます。
 - 4 **[F2]**キーを押してSetupプログラムを実行します。
 - 5 管理者パスワードを入力し、Setupプログラムに入ります。
 - 6 **Security**メニューの**User Password**サブメニューで、新しいユーザ・パスワードを入力します。
 - 7 **[F3]**キーを押して新しいパスワードを保存し、Setupプログラムを終了します。
- ハードウェア・ユーザ・パスワードと管理者パスワードの両方を忘れたとき、次の手順を行ないます。
 - 1 PCワークステーションの電源を切り、PC本体のカバーを取り外します（3ページ参照）。
 - 2 システム・ボード・スイッチの7 (PSWRD) をON の位置にします。スイッチの位置については59ページを参照してください。
 - 3 PCワークステーションのカバーを取り付け、電源を入れて起動ルーチンを実行させます。
 - 4 PCワークステーションの電源を切り、カバーを取り外します。
 - 5 スイッチ7(PSWRD)をOFFの位置に設定します。
 - 6 本体のカバーを取り付けます（4ページ参照）。
 - 7 PCワークステーションの電源を入れ、起動プロセスを実行させます。
 - 8 **[F2]**キーを押してSetupプログラムを実行します。
 - 9 新しい管理者パスワードとユーザ・パスワードを設定します。
 - 10 **[F3]**キーを押して新しいパスワードを保存し、Setupプログラムを終了します。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

ソフトウェアに問題があるとき

Setup プログラムを起動できないとき

この状態が発生するのは、メモリに記憶されているPCワークステーション設定情報が破損した場合です。破損した設定は消去する必要があります。消去する方法については、37ページの「設定メモリのクリア」を参照してください。

日付や時刻が正しくないとき

日付や時刻は、次のような理由で不正確になる場合があります。




- サマータイムの採用によって時間をずらしたり、戻したりした
- PCワークステーションの電源を長期間入れなかったためバッテリーが放電した

内部バッテリーはPCワークステーションをコンセントに接続しておけばすぐに充電されます。

日付と時刻の変更は、オペレーティング・システムのユーティリティ、またはSetupプログラムで行います。

ネットワークに問題があるとき

ネットワークに問題があるときは、HPIEDIAG ユーティリティを実行します。HPIEDIAG は、本PCワークステーションに付属のLANドライバが入ったHP CD-ROMに収録されています。このユーティリティはLANドライバがロードされていなくても、DOSシステムからシステム・フロッピーディスクを使用して起動することができます（Windows NT 4.0を実行している時は他のPCでこのシステム・フロッピーディスクを作る必要があります）。

- 1 フロッピーディスク・ドライブにシステム・フロッピーディスクを入れて、PCワークステーションを再起動します。
- 2 HPIEDIAG ユーティリティの入ったCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。
- 3 ドライブDがCD-ROMドライブの場合、D:と入力して  キーを押し、ドライブDをカレント・ドライブにします。
- 4 **CD\LAN\DIAG**と入力して  キーを押し、DIAGディレクトリに移動します。
- 5 **HPIEDIAG**と入力して  キーを押し、HPIEDIAG ユーティリティを実行します。画面に表示される指示に従います。

Setup プログラムを使用して、内蔵の Ethernet インタフェースの設定を調べます。本 PC ワークステーションにプリインストールされている『Network Administrator's Guide』(英文)も合わせて参照してください。

オーディオに問題があるとき

PC ワークステーションのオーディオ関係に問題が生じた場合は、本 PC ワークステーションにプリインストールされている『Using Sound』ガイドを参照してください。

2 HP PC ワークステーションのトラブルシューティング

ソフトウェアに問題があるとき

技術情報

本章では、PC ワークステーションの技術情報を提供するとともに、HP Setup プログラムについても解説します。

仕様

仕様	説明
プロセッサ (標準)	Pentium® II XEON™ (シングルまたはデュアル)
キャッシュ・メモリ (プロセッサのパッケージに内蔵)	<ul style="list-style-type: none"> 1次キャッシュ: 16 KB コード、16 KB データ 2次キャッシュ: 512 KB、1 MB
メイン・メモリ (サイズ/速度)	<p>最大 2 GB (SDRAM) まで増設可 (以下のメモリを使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 64 MB、128 MB、256 MB 100 MHz ノンバッファ ECC SDRAM、または 512 MB レジスタード ECC SDRAM メモリ・モジュール
ビデオ	<p>ご使用の PC ワークステーションによっては、別のグラフィックス・ソリューションが搭載されている場合があります。最新情報については、HP ウェブ・サイトをご覧ください。</p> <p>XU モデル ELSA GLoria Synergy グラフィックス・アクセラレータを AGP スロットに搭載 8 MB SGRAM グラフィックス・メモリ</p> <p>XW モデル VISUALIZE Fx6 OpenGL アクセラレータを AGP と PCI スロットの両方に搭載 18 MB SGRAM フレーム・バッファ 32 MB SDRAM テクスチャ・メモリ (オプション) VGA 用 1 MB EDO DRAM</p>
LAN	Ethernet 10/100BT LAN コントローラを PCI アクセサリ・ボード (LAN/SCSI 共用ボード) 上に搭載
オーディオ	ハイエンド・ミキシング機能、SigmaDelta コンバータ付き 16 ビット・ハイファイ・オーディオ・インタフェース内蔵
ディスク・ドライブ・コントローラ	<p>内蔵 Ultra 16-bit SCSI コントローラ x1 Ultra ATA-33 IDE コントローラ x1 Ultra SCSI 16 ビット・インタフェース・ボード (LAN と共用) x1、本ボードは 16/8 ビットコンバータ付属、最大 2 台の SCSI デバイスを接続可能。</p>

仕様	説明
背面コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ミニDINマウス ミニDINキーボード 25ピン・パラレル 9ピン・シリアル (2個、バッファ付き) USBコネクタ×2 ジョイスティック/デュアルMIDIコネクタ LINE Inジャック (3.5mm) LINE Outジャック (3.5mm) MIC INジャック (3.5mm) Wide SCSI/LAN共用インタフェース・ボード・コネクタ
25ピン・パラレル・コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> モード：Centronicsまたは双方向モード (ECP/EPP) パラレル・ポート：1 (378h, IRQ 7)、2 (278h, IRQ 5)、またはオフ
9ピン・シリアル・コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> 標準：UART 16550バッファ付きシリアル・ポート×2(ともにRS-232-C) シリアル・ポートAとB：2F8h (IRQ 3)、2E8h (IRQ 3)、3F8h (IRQ 4)、3E8h (IRQ 4) またはオフ (1つのポートが2xxhを使用する場合、別のポートは3xxhを使用)
ディスク・ドライブ・シェルフ	<p>大容量記憶装置用シェルフ × 7</p> <ul style="list-style-type: none"> フロントアクセス・シェルフ、1/3ハイト、3.5インチ・ドライブ用×2 フロントアクセス・シェルフ、ハーフ・ハイト、5.25インチ・ドライブ用×3 内部3.5インチ・ハードディスク・ドライブ用×2
システム・ボード・コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> フロッピーディスク・ドライブ・コネクタ×1 ATA/33 IDEコネクタ×1 (最大2台のIDEデバイスを接続可能) Ultra SCSI 16ビット・コネクタ×1 (最大5台の内部SCSIデバイス) CD-IN オーディオ・コネクタ×1 AUXコネクタ マルチメディア・フロント・パネル・コネクタ フロント・パネルMIC-INコネクタ 内蔵スピーカ・コネクタ HPネットワーク起動コネクタ×1 WOLコネクタ×1 外部バッテリー・コネクタ×1 LCDパネル・コネクタ×1 ステータス・パネル・コネクタ×1 電源コネクタ×2 ファン・コネクタ×3

3 技術情報

仕様

仕様	説明
アクセサリ・スロット	<ul style="list-style-type: none">• AGP (Accelerated Graphics Port) スロットx1• 32ビットPCIスロットx4<ul style="list-style-type: none">• うち 1 基に SCSI/LAN 共用インタフェース・ボード を搭載• HP RAIDport に HP FastRAID2 アクセサリを搭載• ISA/PCI 共用スロットx1
キーボード / マウス	<ul style="list-style-type: none">• HP 拡張キーボード、ミニDINコネクタ付き• HP 拡張スクロール・マウス、ミニDINコネクタ付き
HP UltraFlow クーリング・システム	最適クーリングのための温度制御ファンを複数装備
ヘッドフォン	マイク付きステレオ・ヘッドフォン

システムの仕様

消費電力情報

	XU モデル	XW モデル
動作時	85 W (平均値)	140 W (平均値)
アイドル	75 W (平均値)	124 W (平均値)
オフ	6.5 W ¹ (平均値)	6.1 W (平均値)

1. 本PCワークステーションの電源装置は、PC本体の電源を切った状態でもHP MaxiLifeに電源を供給し続けます。

アクセサリ・スロットに対する最大負荷

ISAとPCIアクセサリ・スロットに対する負荷制限は、ISAとPCI規格に適合しています。許容負荷に関しては、下記のHPウェブ・サイトの本PCワークステーション用サポート関連セクションに詳しい説明が記載されています。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

3 技術情報

システムの仕様

本PCワークステーションが使用するIRQ、DMA、I/Oアドレス

ここに示すIRQ、DMA、およびI/Oのアドレス・マッピングは、基本的な構成を持つPCワークステーションに対するものです。使用するリソースは、PCワークステーションに搭載されているアクセサリ・ボードによって異なります。リソースは、システムBIOSまたはPlug and Play対応のオペレーティング・システムによって割り当てられます。

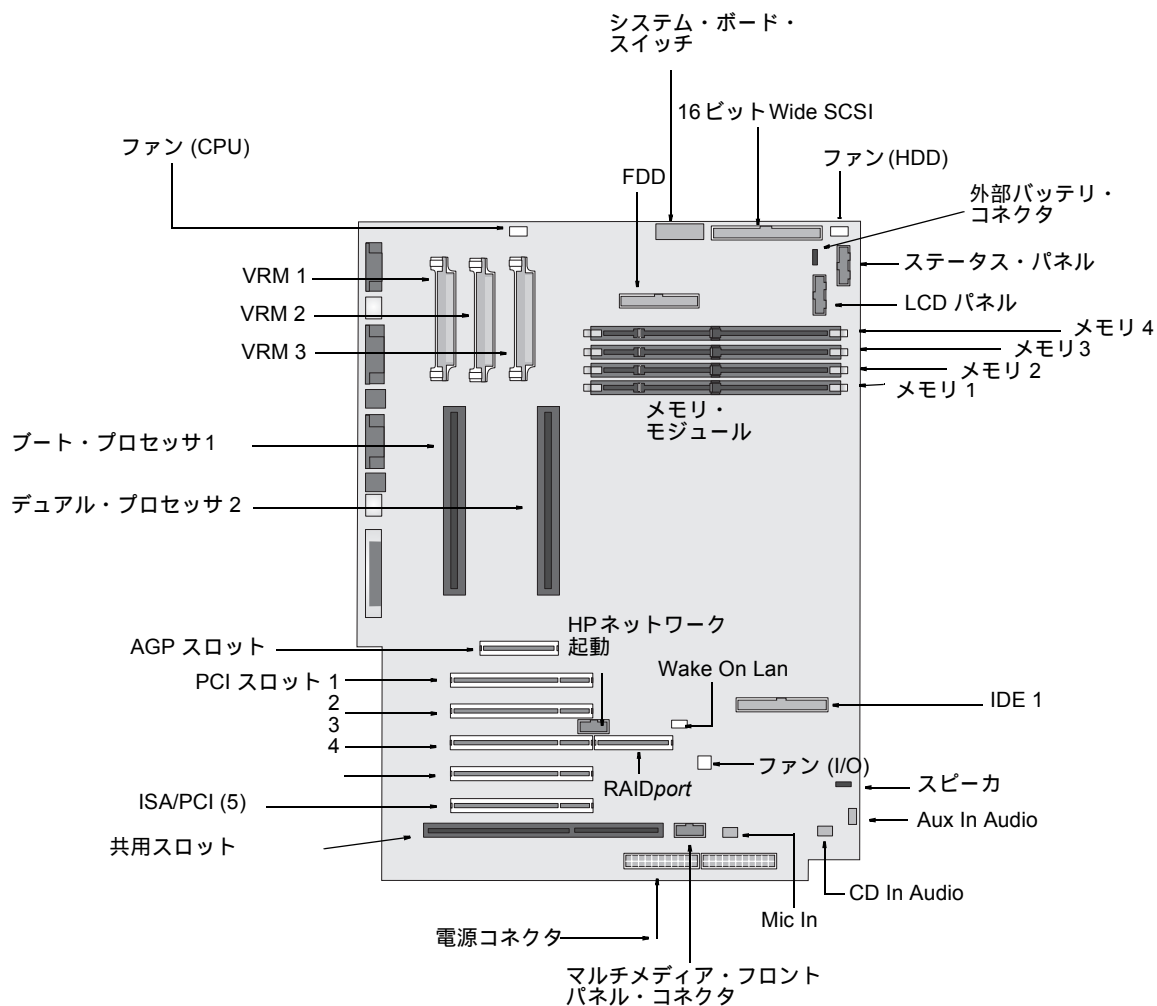
本 PC ワークステーションが使用する IRQ	IRQ 0	システム・タイマ
	IRQ 1	キーボード・コントローラ
	IRQ 2	空き
	IRQ 3	COM2、COM4
	IRQ 4	COM1、COM3
	IRQ 5	AD1816、LPT2
	IRQ 6	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	IRQ 7	LPT1
	IRQ 8	リアルタイム・クロック
	IRQ 9	
	IRQ 10	
	IRQ 11	AD1816 MIDI
	IRQ 12	マウス
	IRQ 13	接続なし
	IRQ 14	内蔵IDEコントローラ
	IRQ 15	

本 PC ワークステーションが使用する DMA	DMA 0	キャプチャ
	DMA 1	ブレイバック
	DMA 2	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	DMA 3	LPT ECP
	DMA 4	カスケード
	DMA 5	空き
	DMA 6	空き
	DMA 7	空き

本 PC ワークステーションが使用する I/O アドレス	0000 - 000F	DMA コントローラ 1
	0020 - 0021	マスタ割り込みコントローラ
	002E - 002F	構成レジスタ
	0040 - 0043	タイマ 1
	0060, 0064	キーボード・コントローラ
	0061	ポート B (スピーカ、NMI ステータスと制御)
	0070	ビット 7: NMI マスク・レジスタ
	0070 - 0071	RTC と CMOS
	0080	製造用ポート (POST カード)
	0081 - 0083,	
	008F	DMA low page レジスタ
	0092	PS/2 リセットと Fast A20
	00A0 - 00A1	スレーブ割り込みコントローラ
	00C0 - 00DF	DMA コントローラ 2
	00F0 - 00FF	コプロセッサ・エラー
	0130 - 013F	AD1816 サウンド・システム
	0170 - 0177	空き (IDE セカンダリ・チャンネル)
	01F0 - 01F7	IDE プライマリ・チャンネル
	0200	AD1816 ジョイスティック
	0220 - 0232	AD1816 Sound Blaster
	0278 - 027F	LPT 2
	02E8 - 02EF	シリアル・ポート 4 (COM4)
	02F8 - 02FF	シリアル・ポート 2 (COM2)
	0330 - 0331	AD1816 MIDI
	0372 - 0377	空き (2 台目のフロッピーディスク・ドライブ)
	0378 - 037A	LPT1
	0388 - 038B	AD1816 Adlib (FM)
	03B0 - 03DF	VGA
	03E8 - 03EF	COM3
	03F0 - 03F5	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	03F6	IDE プライマリ・チャンネル
	03F7	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	03F8 - 03FF	COM1
	04D0 - 04D1	割り込みエッジ/レベル制御
	0678 - 067B	LPT2 ECP
	0778 - 077B	LPT1 ECP
	0CF8 - 0CFF	PCI 構成領域
	8000	PIIX4 パワー・マネジメント用 I/O 領域
	8400	NS317 ACPI レジスタ
	8800	PIIX4 SMBus I/O 領域

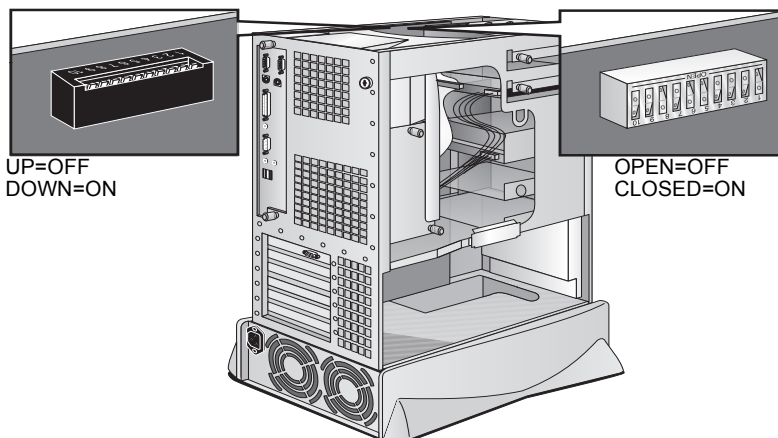
システム・コネクタとスイッチ

システム・ボード・コネクタ



システム・ボード・スイッチ

本PCワークステーションのシステム・ボード・スイッチは、本図に示した2種類のうちのどちらかのタイプになります。



スイッチ2～5はプロセッサの設定に使用します(22ページ参照)。本PCワークステーションに搭載されているプロセッサをより高速なプロセッサと交換する場合はこの設定も変更してください。

スイッチ6から10の使い方は次表のとおりです。

スイッチ	機能
1 - RESERVED	使用禁止 (OFF がデフォルト)
6 - CLEAR CMOS	CMOS メモリを保持またはクリアする。 <ul style="list-style-type: none"> OFF: CMOSメモリを保持する(デフォルト)。 ON: CMOSメモリをクリアする。
7 - CLEAR PASSWORD	EEPROM に格納されたユーザ・パスワードとシステム管理者パスワードを有効またはクリア(無効に)する。 <ul style="list-style-type: none"> OFF: パスワードを有効にする(デフォルト)。 ON: パスワードをクリアする。
8 - KEYBOARD POWER ON	キーボードによるパワーオンを有効または無効にする。 <ul style="list-style-type: none"> OFF: キーボード・パワーオンを無効にする。 ON: キーボード・パワーオンを有効にする(デフォルト)。
9 - RESERVED	使用禁止 (ON がデフォルト)
10 - BIOS RECOVERY	<ul style="list-style-type: none"> OFF: ノーマル・モードを有効にする(デフォルト)。 ON: リカバリ・モードを有効にする。

HP サマリ画面と Setup プログラム

このセクションでは、HP サマリ画面と HP Setup プログラムについて紹介します。サマリ画面や Setup プログラムを使って、PC ワークステーションを設定し、設定に問題があればそれを解決することができます。

HP Setup プログラムの起動

- 1 まずディスプレイの電源を入れ、その後で PC ワークステーションの電源を入れます。PC ワークステーションの電源がすでに入っている場合は、データと既存のプログラムをすべて保存して、PC ワークステーションを再起動します。電源を切って、PC ワークステーションを再起動する時に何か特別に注意することがないか、使用しているオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。
- 2 画面の下に **[F2] Setup** が表示されている間に、**[F2]** キーを押します。**[F2]** キーを押し遅れ、起動プロセスが進行していったら、PC ワークステーションを再起動し、もう一度 POST (パワーオン・セルフ・テスト) を実行している時に、**[F2]** キーを押す必要があります。

PC ワークステーションの Setup プログラムの初期画面が表示されます。

HP サマリ画面の表示

PC ワークステーションを初めて使用する場合や、アクセサリのインストール、取り外し、アップグレードなどを行った後は、そのたびに PC ワークステーションの設定をチェックしてください。設定は、次の方法でチェックします。

- 1 まずディスプレイの電源を入れ、次に PC ワークステーションの電源を入れます。PC ワークステーションの電源がすでに入っている場合は、データと既存のプログラムをすべて保存して、PC ワークステーションを再起動します。電源を切って、PC ワークステーションを再起動する際、特別に注意することはないか、ご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。
- 2 スタートアップ・ロゴがディスプレイに表示されている間に、**[Esc]** キーを押すと、HP サマリ画面が表示されます (サマリ画面をスキップして直接 Setup プログラムに進む場合は、**[Esc]** キーではなく **[F2]** キーを押してください)。サマリ画面は数秒間しか表示されません。**[F5]** キーを押すと、サマリ画面をそのまま表示させておくことができます。

ネットワーク接続の設定

本PCワークステーションにHP提供のネットワーク・ソリューションが内蔵されている場合は、本項をお読みください。

内蔵のEthernetインタフェースの設定を変更するには、PCワークステーションのSetupプログラムを使用します(60ページを参照)。Setupプログラムで設定できる主なネットワーク関連のオプションを次の表に示します。

ネットワークの設定項目 ¹	Setup プログラムでの設定
内蔵ネットワーク・インタフェース ² を有効にする	Advanced メニューの Integrated Network Interface サブメニュー
ネットワーク経由でのPCワークステーションの起動(ブートとログオン)を有効にする	Security メニューの Boot Devices Security サブメニュー(次項に詳述)
PCワークステーションのリモート・パワーオンを有効にする	Power メニューの [Integrated Network] 設定項目を有効にする。
内蔵のネットワーク・インタフェースがコマンドを受信したときに、サスペンド・ウェークアップ・モードからフルパワーに復帰することを有効にする	Power メニューの [Integrated Network] 設定項目を有効にする。
ブート・デバイスのプライオリティを決定する	Boot メニューの [Boot Device Priority] リスト項目を選択する(次ページに詳述)。

1. ネットワークの設定についての詳細は、本PCワークステーションに付属の『Network Administrator's Guide』(英文)を参照してください。
2. LANカードを無効にしても、リモート・パワーオンやリモート・ウェークアップなど、LANカードの一部の機能が無効になるだけで、LANカード自体が無効になるわけではありません。
















3 技術情報

ネットワーク接続の設定

ネットワーク・セキュリティ機能の制御









ネットワークのセキュリティ機能を使用すると、ネットワーク経由でLANサーバからPCワークステーションを起動できます。

ネットワーク経由の起動を有効にする

- 1 Setup プログラムを起動したら (60 ページを参照)、 キーまたは  キーを使用して **Security** メニューを選択します。
- 2  キーを押して **Boot Device Security** を強調表示し、 キーを押してサブメニューを表示します。
- 3 **Start from Network** を強調表示し、 キーまたは  キーを押して、オプションを **Enabled** に変更します。
- 4 その他の起動オプションを、次の手順で無効にすれば、ネットワークやサーバに問題が発生した場合にコンピュータの起動を防止できます。
 - a  キーを押して **Start From Floppy** を強調表示し、 キーまたは  キーを押してオプションを **Disabled** に変更します。
 - b  キーを押して **Start From IDE CD-ROM** を強調表示し、 キーまたは  キーを押してオプションを **Disabled** に変更します。
 - c  キーを押して **Start From IDE HDD** を強調表示し、 キーまたは  キーを押してオプションを **Disabled** に変更します。
- 5 変更を保存して、Setup プログラムを終了します。

ブート・デバイス・プライオリティの選択

PCワークステーションが、ネットワーク上のブート・デバイスも含めて、どの順番でブート・デバイスを検索するか決めることができます。次のステップを実行します。

- 1 Setup プログラムを起動し、 キーまたは  キーを使って **Boot** メニューを選択します。
- 2  キーを押して、**Boot Device Priority** を強調表示し、 キーを押してサブメニューを選択します。
- 3  キーと  キーを使ってブート・デバイスを選択し、次に  キーまたは  キーを押してデバイスをリスト内で上下に動かします。

<p>数字</p> <p>16 ビット SCSI コネクタ, システムボード上の 58</p> <p>8 ビット SCSI コネクタ 58</p> <p>8 ビット SCSI, コネクタ 8</p> <p>A</p> <p>AGP スロット、システムボード上の 58</p> <p>C</p> <p>CD コネクタ, システム・ボード上の 58</p> <p>CD-ROM インストールの完了 18 トラブルシューティング 44</p> <p>CD-RW トラブルシューティング 44</p> <p>D</p> <p>DIMM スロット、システム・ボード上の 58</p> <p>DMA チャネル PC ワークステーションが使用する 56</p> <p>F</p> <p>Fast RAID ポート、システム・ボード上の 58</p> <p>H</p> <p>HP DiagTools 32</p> <p>HP MaxiLife 28</p> <p>HP TopTools 41</p> <p>HP Setup プログラム 60</p> <p>HP サマリ画面 60</p> <p>I</p> <p>IDE ドライブ ケーブル 11, 14, 16</p> <p>I/O アドレス PC ワークステーションが使用する 56</p> <p>ISA スロット、システム・ボード上の 58</p>	<p>P</p> <p>PCI スロット、システム・ボード上の 58</p> <p>PC ワークステーション 仕様 52 54 技術情報 52 62 技術的仕様 52 59 トラブルシューティング 27</p> <p>Plug and Play SCSI 9</p> <p>S</p> <p>SCSI Plug and Play 9 ケーブル 11, 14, 16</p> <p>Setup トラブルシューティング 48</p> <p>Setup プログラム 60</p> <p>V</p> <p>VRM ソケット システム・ボード上の 58</p> <p>あ</p> <p>アクセサリ インストール 1 サポートされる 2 アクセサリ・ボード インストール 19</p> <p>い</p> <p>インストール CD-ROM ドライブの～の完了 18 アクセサリ 1 アクセサリ・ボード 19 ディスク・ドライブ 8 テープ・ドライブ 15 プロセッサ 22 フロッピーディスク・ドライブ 15 フロッピーディスク・ドライブの～の完了 18 メイン・メモリ 6</p> <p>え</p> <p>エラー・メッセージ 36</p>	<p>お</p> <p>オーディオ トラブルシューティング 49 オーディオ・インタフェース 49</p> <p>か</p> <p>外部起動 システム・ボード上のコネクタ 58</p> <p>カバー 取り付け 4 取り外し 3</p> <p>き</p> <p>キーボード トラブルシューティング 41</p> <p>起動 ブート・デバイスの変更 62 技術仕様 51 技術情報 52-62 技術的仕様 51 PC ワークステーションの 51-59</p> <p>け</p> <p>ケーブル IDE 11,14,16 SCSI 11,16 フロッピーディスク・ドライブ 16</p> <p>こ</p> <p>コネクタ 16 ビット SCSI,, システム・ボード上の 58 CD, システム・ボード上の 58 外部起動, システム・ボード上の 58 ステータス・パネル, システム・ボード上の 58 電源, システム・ボード上の 58 内蔵スピーカ, システム・ボード上の 58 ファン 58 フロッピーディスク・ドライブ, システム・ボード上の 58 フロント・パネル mic システム・ボード上の 58</p>
---	---	--

- マルチメディア・フロント・パネル 58
- さ
- サポートされる HP 製アクセサリ 2
- サマリ画面 60
- し
- システム 55
- システム・ボード
- CD コネクタ 58
 - ISA スロット 58
 - PCI スロット 58
 - コネクタ 58
 - 電源コネクタ 58
 - プロセッサ・ソケット 58
 - フロント・パネル mic 58
 - マルチメディア・フロント・パネル 58
 - スイッチ 59
- システム・ボード・コネクタ 58
- システム・ボード上の AGP スロット 58
- 仕様 55 57
- す
- スイッチ, システム・ボード上の 59
- ステータス・パネル
- コネクタ, 58
- スロット
- AGP, システム・ボード上の 58
 - DIMM スロット, システム・ボード上の 58
 - ISA, システム・ボード上の 58
 - PCI, システム・ボード上の 58
- そ
- ソケット
- VRM, システム・ボード上の 58
 - プロセッサ, システム・ボード上の 58 ソフトウェア
- て
- ディスク・ストライピング 9
- ディスク・ドライブ
- インストール 8
- テープ・ドライブ
- インストール 15
- 電源
- コネクタ, システム・ボード上の 58
- 電力
- 消費 55
- と
- トラブルシューティング 49
- CD-ROM 43
 - CD-RW 43
 - PC ワークステーション Setup 48
 - オーディオ 49
 - オーディオ・インタフェース 49
 - キーボード 41
 - ソフトウェア 47
 - フロッピーディスク・ドライブ 42
 - ハードディスク・ドライブ 42
 - マウス 42
- な
- 内蔵スピーカ
- 接続, システム・ボード上の 58
- ね
- ネットワークの設定, セットアップ 61
- は
- ハードディスク・ドライブ インストールの完了 14
 - ケーブル 11, 14
 - トラブルシューティン 42
- パスワード
- ~を忘れた場合 47
- ひ
- ビデオ 52
- ふ
- ファン
- コネクタ 58
- ブート・デバイス・プライオリティの変更 62
- プロセッサ
- インストール 22
 - ソケット, システム・ボード上の 58
- フロッピーディスク・ドライブ
- インストール 15
 - インストールの完了 18
 - ケーブル 16
 - コネクタ, システム・ボード上の 58
 - トラブルシューティング 42
- フロント・パネル mic
- コネクタ, システム・ボード上の 58
- ほ
- ポート
- FastRAID, システム・ボード上の 58
- ま
- マウス
- トラブルシューティング 42
- マルチメディア
- フロント・パネル・コネクタ 58
- め
- メモリ
- キャッシュ 52
 - メイン、インストール 6
- わ
- 割り込み要求チャネル
- PC ワークステーションが使用する 56

本 HP PC ワークステーションの物理的仕様

特徴	説明
重量 (キーボードとディスプレイを除く) — XU モデル — XW モデル	22 kg 最大 25 kg
外形寸法	奥行き 41.6 cm (最大) x 幅 27 cm x 高さ 51 cm
設置面積	0.09 m ²
保管時温度	-40 ~70
保管時湿度	8% ~80% (相対湿度)
動作時温度	5 ~ 40
動作時湿度	15% ~ 80% (相対湿度)
動作時ノイズ: 音響出力 SCSIハードディスク・ドライブ (10 krpm で稼動時)	(ISO 7779 で定義) LwA < 50 dB
電源	<ul style="list-style-type: none">電源電圧: 100 - 127、200 - 240 Vac (自動選択)電源周波数 50/60Hz最大電力: 350 W (連続)

PCワークステーション・ドキュメンテーション・ロードマップ

次の情報を探すには...

